

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年11月12日

【発行者名】 T & Dアセットマネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 田中 義久

【本店の所在の場所】 東京都港区芝五丁目36番7号

【事務連絡者氏名】 富岡 秀夫

【電話番号】 03-6722-4813

【届出の対象とした募集内国投資信託
受益証券に係るファンドの名称】 青のライフキャンバス・ファンド（標準型）
赤のライフキャンバス・ファンド（積極型）

【届出の対象とした募集内国投資信託
受益証券の金額】 継続募集額
各ファンドにつき1,000億円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

第一部【証券情報】

（１）【ファンドの名称】

青のライフキャンパス・ファンド（標準型）

赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）

以上を総称して「ライフキャンパス・ファンド」または「ファンド」ということがあります。また、各々「青のライフキャンパス・ファンド（標準型）」を「青のライフキャンパス・ファンド」、「赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）」を「赤のライフキャンパス・ファンド」ということがあります。

（２）【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の振替内国投資信託受益権（以下「受益権」といいます。）です。

委託者（以下「委託会社」ということがあります。）の依頼により、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述「（１１）振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社であるT & Dアセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

（３）【発行（売出）価額の総額】

各ファンドにつき、1,000億円を上限とします。

（４）【発行（売出）価格】

購入申込受付日の翌営業日の基準価額 とします。

「基準価額」とは、ファンドの資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）をその時の発行済受益権総口数で除した1口当たりの純資産価額をいいます（ただし、1万口当たりに換算した価額で表示されます。）。

基準価額につきましては、販売会社（委託会社を含め、委託会社の指定する金融商品取引法第28条第1項に規定する第一種金融商品取引業を行う者および委託会社の指定する金融商品取引法第2条第11項に規定する登録金融機関をいいます。）または下記にお問い合わせください。

T & Dアセットマネジメント株式会社

電話番号 03-6722-4810（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

（５）【申込手数料】

2.20%（税抜2.0%）を上限として販売会社が個別に定める率を、発行価格に乗じて得た額とします。

申込手数料は、ファンドの商品説明、販売に係る事務費用等の対価です。

なお、収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

（６）【申込単位】

販売会社にお問い合わせください。

（７）【申込期間】

2021年11月13日から2022年5月13日まで

なお、申込期間は上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

（８）【申込取扱場所】

申込取扱場所（販売会社）につきましては、前述「（４）発行（売出）価格」の照会先にお問い合わせください。

（９）【払込期日】

ファンドの受益権の購入申込者は、販売会社が定める払込期日までに、購入代金（発行価格に申込口数を乗じて得た額に申込手数料（税込）を加算した額をいいます。）をお申し込みの販売会社に支払うものとします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

振替受益権に係る各購入申込日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に委託会社の指定する口座を經由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

（１０）【払込取扱場所】

払込取扱場所は申込取扱場所（販売会社）と同様です。お問い合わせにつきましては、前述「（４）発行（売出）価格」の照会先にお問い合わせください。

（１１）【振替機関に関する事項】

ファンドの振替機関は株式会社証券保管振替機構です。

（１２）【その他】

日本以外の地域における発行はありません。

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、前述「（１１）振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取り扱われるものとします。

ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および前述「（１１）振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

ライフキャンバス・ファンドは各ファンド間でスイッチング（乗換）が可能な場合があります。スイッチングにつきましては、販売会社にお問い合わせください。なお、取扱いを行わない販売会社もあります。また、確定拠出年金制度に基づくお申込みの場合には適用されません。

スイッチングとは、保有しているファンドの換金と同時に他のファンドを購入することをいいます。

スイッチングの際には、販売会社が定める所定の手数料等がかかります。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

ファンドは、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの基本的性格

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。ファンドが該当する商品分類および属性区分を網掛け表示しています。

<商品分類表>

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型投信 追加型投信	国内 海外 内外	株式 債券 不動産投信 その他資産 資産複合

<属性区分表>

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 不動産投信 その他資産 (投資信託証券(資産複合(株式・債券)資産配分固定型)) 資産複合	年1回 年2回 年4回 年6回(隔月) 年12回(毎月) 日々 その他	グローバル (日本を含む) 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東(中東) エマージング	ファミリーファンド ファンド・オブ・ファンズ	あり なし

< 商品分類の定義 >

追加型投信

一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。

内外

目論見書または信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

資産複合

目論見書または信託約款において、株式・債券・不動産投信（リート）・その他資産のうち、複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

< 属性区分の定義 >

その他資産（投資信託証券（資産複合（株式・債券）資産配分固定型））

目論見書または信託約款において、投資信託証券を通じて、複数資産（国内株式・国内債券・外国株式・外国債券）を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいいます。

年1回

目論見書または信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。

グローバル（日本を含む）

目論見書または信託約款において、組入資産による投資収益が世界（日本を含む）の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

ファミリーファンド

目論見書または信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいいます。

為替ヘッジなし

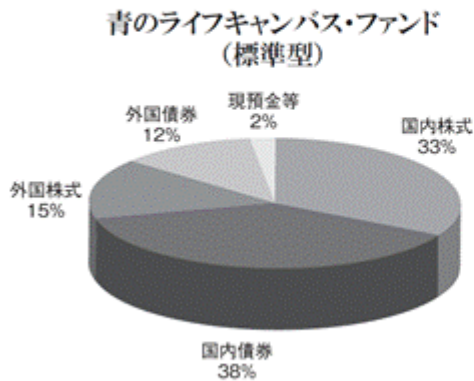
目論見書または信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載のないものをいいます。

属性区分における「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（www.toushin.or.jp）をご参照ください。

ファンドの特色

- 1 ライフキャンパス・ファンドでは、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行います。
- 2 資産配分比率の異なる2本のファンドからお選びいただけます。



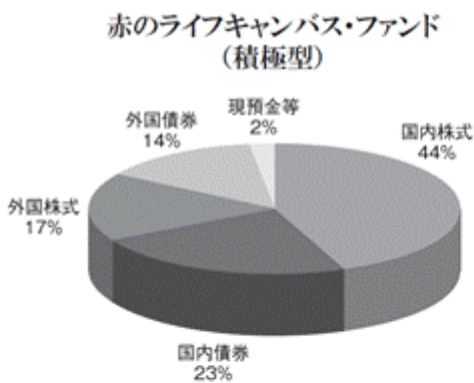
中長期的な成長を目指す

「青のライフキャンパス・ファンド」

選択時のご参考:

- 5年単位の中長期の投資資金
- 収益率だけでなく安定性も考慮する投資資金
- ある程度の価格変動リスクは許容できる投資資金

国内債券の構成比を高めとし、株式資産や外貨建資産の構成比を低めとした基本ポートフォリオとし、中長期的な成長を目指した運用を行います。



積極的に収益を追求する

「赤のライフキャンパス・ファンド」

選択時のご参考:

- 10年単位の長い期間での投資資金
- 収益率重視の投資資金
- 価格変動リスクが許容できる投資資金

国内株式、外貨建資産の構成比を高めにした基本ポートフォリオとし、短期的な価格変動は大きいものの、長期的に高い収益率を目指した運用を行います。

※上記グラフの比率は、各ファンドの基本ポートフォリオの資産構成比率です。

- 3 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いませんので、為替変動の影響を受けます。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

信託金限度額

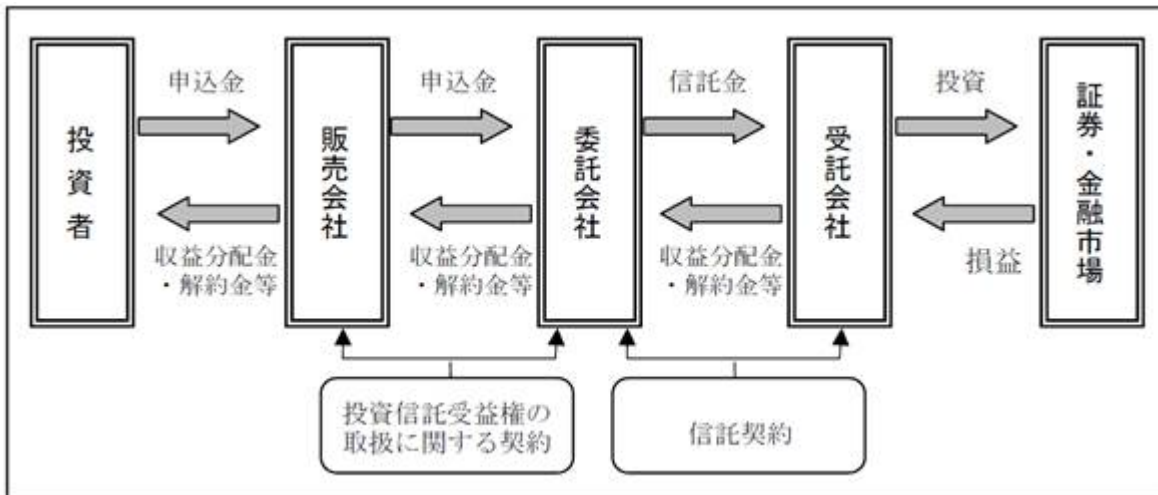
信託金の限度額は各ファンドにつき1,000億円です。ただし、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

(2) 【ファンドの沿革】

2000年2月16日 信託契約締結、ファンドの設定、運用開始

（３）【ファンドの仕組み】

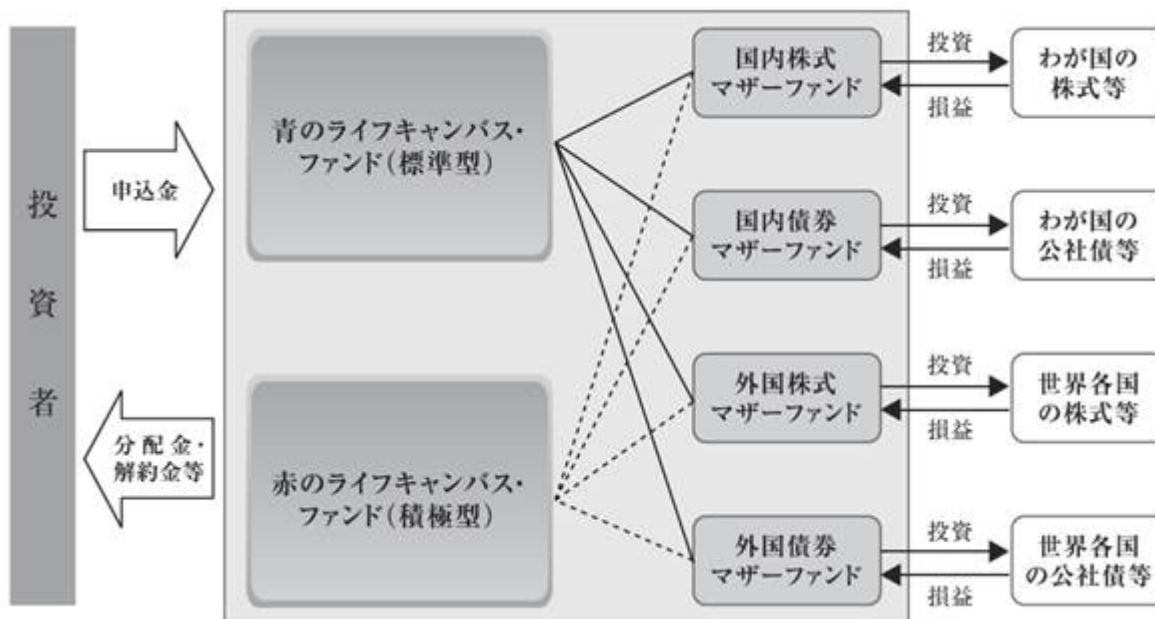
ファンドの仕組み図



ファミリーファンド方式の仕組み

ファンドは、運用効率化のためファミリーファンド方式で運用を行います。

ファミリーファンド方式とは、投資者からご投資いただいた資金をベビーファンドとしてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。



委託会社およびファンドの関係法人の名称およびファンドの運営上の役割

（委託会社が関係法人と締結している契約等の概要を含みます。）

a. 委託会社

T & Dアセットマネジメント株式会社

委託会社は、信託約款（信託契約）の規定等に基づき主に次の業務を行います。

- （１）信託約款の届出
- （２）信託財産の運用指図
- （３）信託財産の計算（毎日の基準価額の計算）

(4) 目論見書および運用報告書の作成等

b. 受託会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

受託会社は、信託約款（信託契約）の規定等に基づき主に次の業務を行います。

- (1) 信託財産の保管・管理・計算
- (2) 委託会社の指図に基づく信託財産の処分等

c. 販売会社

販売会社は、委託会社との間に締結した「投資信託受益権の取扱いに関する契約」（別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約を含みます。）等に基づき、主に次の業務を行います。

- (1) 受益権の募集・販売の取扱い
- (2) 受益権の換金（解約）申込の取扱い
- (3) 換金代金、収益分配金および償還金の支払いの取扱い
- (4) 目論見書、運用報告書の交付等

委託会社の概況

a. 資本金

2021年8月末日現在 11億円

b. 会社の沿革

1980年12月19日 第一投信株式会社設立
同年12月26日「証券投資信託法」（当時）に基づく免許取得

1997年12月 1日 社名を長期信用投信株式会社に変更

1999年 2月25日 大同生命保険相互会社（現：大同生命保険株式会社）の傘下に入る

1999年 4月 1日 社名を大同ライフ投信株式会社に変更

2002年 1月24日 投資顧問業者の登録

2002年 6月11日 投資一任契約に係る業務の認可

2002年 7月 1日 ティ・アンド・ディ太陽大同投資顧問株式会社と合併、
ティ・アンド・ディ・アセットマネジメント株式会社に社名を変更

2006年 8月28日 社名をT & Dアセットマネジメント株式会社に変更

2007年 3月30日 株式会社T & Dホールディングスの直接子会社となる

2007年 9月30日 金融商品取引法の施行に伴い、第二種金融商品取引業、
投資助言・代理業、投資運用業の登録

c. 大株主の状況

2021年8月末日現在

株主名	住所	所有株数	所有比率
株式会社T & Dホールディングス	東京都中央区日本橋二丁目7番1号	1,082,500株	100%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

基本方針

ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券への分散投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

● マザーファンドの概要

ファンドは、下記の各マザーファンドを主要投資対象とします。

国内株式 マザーファンド

わが国の金融商品取引所に上場の株式を主たる投資対象とし、ボトムアップ・アプローチ^{※1}により、アクティブ運用を行います。

ベンチマーク^{※2}:東証株価指数(TOPIX)

東証株価指数(TOPIX)とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

*2022年4月4日より、東京証券取引所の市場区分は再編される予定です。

国内債券 マザーファンド

わが国の公社債を投資対象とし、主としてデュレーション・マネジメント^{※3}により、アクティブ運用を行います。

ベンチマーク:NOMURA-BPI総合

NOMURA-BPI総合は、日本国内で発行される公募債券流通市場全体の動向を的確に表すために野村證券株式会社が開発・公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

外国株式 マザーファンド

MSCI-KOKUSAIインデックスの構成国の上場株式等を投資対象とし、機動的な国別配分の変更などによるアクティブ運用を行います。

ベンチマーク:MSCI-KOKUSAIインデックス(除く日本、円ベース)

MSCI-KOKUSAIインデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。当インデックスに関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

外国債券 マザーファンド

FTSE世界国債インデックス構成国の国債を投資対象とし、機動的な国別配分の変更、デュレーション・マネジメントなどによるアクティブ運用を行います。

ベンチマーク:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

ファンドは、各マザーファンドのベンチマークを次ページの基本ポートフォリオで組み合わせた合成指数をベンチマークとします。

※1 ボトムアップ・アプローチとは、個別企業についての調査・分析を基にした、個別銘柄の選択によってポートフォリオを構築する投資手法です。

※2 ベンチマークとは、ファンドの運用成果を判断するための基準となる指標をいい、ファンドが目標とする運用成果そのものを表すものではありません。従って、ファンドおよびマザーファンドは、いずれも特定のベンチマークに投資成果が連動するインデックスファンドではありません。

※3 デュレーション・マネジメントとは、金利の変動を的確に予想し、公社債の値上がりが利益獲得を目指す運用手法です。

投資態度

● 基本ポートフォリオ

ファンドでは、以下の基本ポートフォリオの資産構成比に基づいて各資産を組入れます。また、基本ポートフォリオの資産構成比を基準（中心値）とし、市場見通しにしたがい一定の範囲内でアセットアロケーションを変更することがあります。基本ポートフォリオならびに変更幅は原則として毎年見直しを行います。

青のライフキャンパス・ファンド(標準型)

	基本ポートフォリオ*(%)	変更幅
国内株式	33.0	±10.0
国内債券	38.0	±10.0
外国株式	15.0	±10.0
外国債券	12.0	±10.0
現預金	2.0	-2.0～+40.0
合計	100.0	

赤のライフキャンパス・ファンド(積極型)

	基本ポートフォリオ*(%)	変更幅
国内株式	44.0	±10.0
国内債券	23.0	±10.0
外国株式	17.0	±10.0
外国債券	14.0	±10.0
現預金	2.0	-2.0～+40.0
合計	100.0	

※基本ポートフォリオにおける各資産の比率は、原則として、信託財産に属する各マザーファンドの時価総額に、各マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める各資産の時価総額の割合を乗じて得た額を、信託財産の純資産総額で除したものです。

- 実質組入れ外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等により為替ヘッジを行う場合があります。
- 信託財産に属する資産について、国内において行われる通貨にかかる先物取引、通貨にかかる選択権取引ならびに外国の金融商品取引所等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことができます。また、有価証券の価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の金融商品取引所等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことができます。
- 信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（スワップ取引）を行うことができます。
- 信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことができます。
- 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

(2) 【投資対象】

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

a．次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。）

（1）有価証券

（2）デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款に定めるものに限りません。）

（3）金銭債権

（4）約束手形

b．次に掲げる特定資産以外の資産

（1）為替手形

国内株式マザーファンド、国内債券マザーファンド、外国株式マザーファンドおよび外国債券マザーファンドを主要投資対象とします。

委託会社は、信託金を主として、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。ただし、私募により発行された有価証券（短期社債等を除きます。）に投資することを指図しません。

1．国内株式マザーファンド

2．国内債券マザーファンド

3．外国株式マザーファンド

4．外国債券マザーファンド

5．株券または新株引受権証券

6．国債証券

7．地方債証券

8．特別の法律により法人の発行する債券

9．社債券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）

10．特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

11．投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

12．特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）

13．協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）

14．特定目的会社にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）

15．コマーシャル・ペーパー

16．新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。）および新株予約権証券

17．外国または外国の者の発行する証券または証書で、1．から16．の証券または証書の性質を有するもの

18．投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

19．投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

20．外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

21．オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限りません。）

22．預託証券（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）

23．外国法人が発行する譲渡性預金証券

24．貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの

25．外国の者に対する権利で24．の有価証券の性質を有するもの

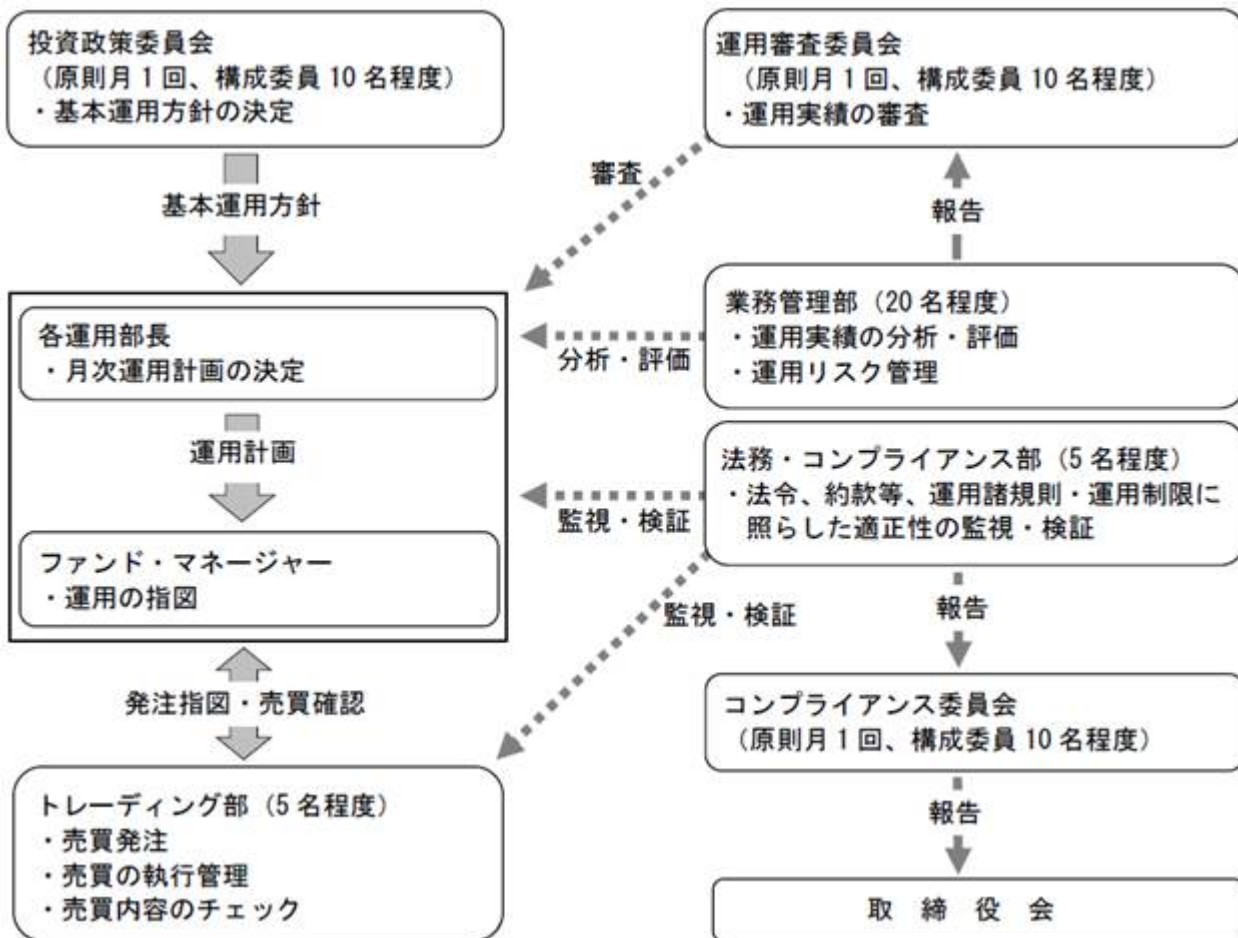
なお、5．の証券または証書、17．および22．の証券または証書のうち5．の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、6．から11．までの証券および17．および22．の証券または証書のうち6．から11．までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、18．および19．の証券を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

- 1．預金
- 2．指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
- 3．コール・ローン
- 4．手形割引市場において売買される手形
- 5．貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
- 6．外国の者に対する権利で5．の権利の性質を有するもの

（３）【運用体制】

委託会社の運用体制は以下の通りです。



個別ファンドの運用計画については、ファンド・マネージャーが組入比率等の計画を立案し、各運用部長の承認を経て実施されます。

受託会社に対しては、日々の純資産照合等を行っています。また、内部統制の有効性に関する報告書を定期的に受取っています。

委託会社の運用体制等は2021年8月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（４）【分配方針】

年1回、毎決算時（2月15日。ただし、該当日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、配当等収益および売買益等の全額から諸経費を控除した額とします。

収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず、信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

配当等収益とは、配当金、利子、貸付有価証券にかかる品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額で、みなし配当等収益との合計額から諸経費、監査費用（税込）、信託報酬（税込）を控除した後、その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

売買益とは、売買損益に評価損益を加減して得た額からみなし配当等収益を控除して得た利益金額で、諸経費、監査費用（税込）、信託報酬（税込）を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

みなし配当等収益とは、マザーファンドの信託財産にかかる配当等収益の額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの時価総額の割合を乗じて得た金額をいいます。

毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

（５）【投資制限】

ファンドの信託約款に基づく投資制限

「青のライフキャンパス・ファンド（標準型）」

- a. 委託会社は、信託財産に属する株式の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の60以上となる投資の指図をしません。
- b. 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の40を超えることとなる投資の指図をしません。

「赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）」

- a. 委託会社は、信託財産に属する株式の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の70以上となる投資の指図をしません。
- b. 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の50を超えることとなる投資の指図をしません。

「ライフキャンパス・ファンド」共通

- c. 委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。
- d. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- e. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。
- f. (1) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

- (2) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該新株引受権証券および当該新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- g . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができます。
- (2) (1) の信用取引の指図は、次の1 . から6 . に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次の1 . から6 . に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。
- 1 . 信託財産に属する株券および新株引受権証券の権利行使により取得する株券
 - 2 . 株式分割により取得する株券
 - 3 . 有償増資により取得する株券
 - 4 . 売出しにより取得する株券
 - 5 . 信託財産に属する転換社債の転換請求および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得可能な株券
 - 6 . 信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（5 . に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券
- h . (1) 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の市場等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。
- (2) 委託会社は、信託財産について、わが国の金融商品取引所等における通貨にかかる先物取引ならびに外国の市場におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。
- (3) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の市場におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。
- i . 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（スワップ取引）を行うことの指図をすることができます。
- j . 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うことの指図をすることができます。
- k . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の1 . から2 . の範囲内で貸付けの指図をすることができます。
- 1 . 株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 - 2 . 公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。

- (2) (1) に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (3) 委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- l . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、公社債（信託財産により借入れた公社債を含みます。）の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (2) (1) の売付の指図は、当該売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、(2) の売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。
- m . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- (2) (1) の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、(2) の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返済するための指図をするものとします。
- (4) (1) の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。
- n . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該転換社債および当該転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- o . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一発行体の発行する公社債の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該公社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません（ただし、国債は除きます。）。
- p . 外貨建資産への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。
- q . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- (2) (1) の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約とマザーファンドの信託財産にかかる為替の買予約のうち信託財産に属するとみなした額との合計額と、信託財産にかかる為替の売予約とマザーファンドの信託財産にかかる為替の売予約のうち信託財産に属するとみなした額との合計額との差額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- (3) (2) の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

- r . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) (1) の資金借入額は、次の1 . から3 . に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
- 1 . 換金代金の支払資金の手当てのために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 - 2 . 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 - 3 . 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) (2) の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- s . デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。
- t . 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

「投資信託及び投資法人に関する法律」および関係法令に基づく投資制限

- a . 委託会社は、信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書に係る取引および選択権付債券売買を含みます。）を行い、または継続することを受託会社に指図しないものとします。
- b . 委託会社は、同一の法人の発行する株式について、委託会社が運用の指図を行う全ての委託者指図型投資信託につき信託財産として有する当該株式に係る議決権の総数が、当該株式に係る議決権の総数に100分の50を乗じて得た数を超えることとなる場合において、当該株式を信託財産をもって取得することを受託会社に指図してはなりません。

（参考）マザーファンドの概要

国内株式マザーファンド

（1）投資方針

東証株価指数（TOPIX）をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目指します。

ボトム・アップ・アプローチにより利益の成長性、財務体質の健全性、経営戦略などの観点から投資価値が高いと判断される銘柄に投資を行います。

業種配分については、ボトム・アップ・アプローチに加え、マクロ・セミマクロ経済分析を加味して決定します。

セミマクロ経済分析とは、マクロの経済分析とミクロの企業分析との中間に位置し、経済を産業レベルから把握しようとする分析手法です。

株式の組入比率は、原則として高位とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。

特定の銘柄や業種に対し、過度の集中がないように配慮します。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

（２）投資対象

わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。

（３）投資制限

- a. 株式への投資割合には制限を設けません。
- b. 外貨建資産への投資は行いません。
- c. 委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。
- d. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- e. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、わが国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。
- f. (1) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
(2) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- g. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができます。
(2) (1)の信用取引の指図は、次の1. から6. に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次の1. から6. に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。
 1. 信託財産に属する株券および新株引受権証券の権利行使により取得する株券
 2. 株式分割により取得する株券
 3. 有償増資により取得する株券
 4. 売出しにより取得する株券
 5. 信託財産に属する転換社債の転換請求および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得可能な株券
 6. 信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（5. に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券
- h. 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。

- i . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の1 . から2 . の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。
- 1 . 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 - 2 . 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面の合計額を超えないものとします。
- (2) (1) に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は、速やかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (3) 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- j . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- k . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) (1) の資金借入額は、次の1 . から3 . に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
- 1 . 換金代金の支払資金の手当てのために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 - 2 . 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 - 3 . 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) (2) の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- l . デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。
- m . 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

国内債券マザーファンド

(1) 投資方針

NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、長期的にこれを上回る投資成果を目指します。

投資対象は、原則としてA格相当(スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ、格付投資情報センター、日本格付研究所のいずれかから取得したもの)以上の信用格付を有する公社債とし、信用リスクや利回り格差等を考慮のうえ組入銘柄を選定します。ただし、市況状況等によってはBBB格相当の公社債に投資する場合があります。

主としてデュレーション・マネジメントにより、アクティブ運用を行います。

公社債の組入比率は、原則として高位とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

（２）投資対象

わが国の公社債を主要投資対象とします。

（３）投資制限

- a. 株式への投資は行いません。
- b. 外貨建資産への投資は行いません。
- c. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- d. 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。
- e. (1) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
(2) スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として約款に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
(3) スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
(4) スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手が市場実勢金利等をもとに算定した価額で評価するものとします。
(5) 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供を要求され委託会社がその必要性を認めたときあるいは受入れが必要と委託会社が認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- f. (1) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、金利先渡取引を行うことの指図をすることができます。
(2) 金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として約款に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
(3) 金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、信託財産にかかるヘッジ対象金利商品の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、上記ヘッジ対象金利商品の時価総額の合計額が減少して、金利先渡取引の想定元本の合計額がヘッジ対象金利商品の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は、速やかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

- (4) 金利先渡取引の評価は、当該取引契約の相手が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- (5) 委託会社は、金利先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- (6) fに規定する「金利先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日(以下「決済日」といいます。)における決済日から一定の期間を経過した日(以下「満期日」といいます。)までの期間に係る国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率(以下「指標利率」といいます。)の数値を取り決め、その取り決めに係る数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額および当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。
- g . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する公社債を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- (2) (1)に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は、速やかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (3) 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- h . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、公社債(信託財産により借入れた公社債を含みます。)の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができますものとしてします。
- (2) (1)の売付の指図は、当該売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、(2)の売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。
- i . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- (2) (1)の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、(2)の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- (4) (3)の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。
- j . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- k . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一発行体の発行する公社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません(ただし、国債は除きます。)

1. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができません。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
 - (2) (1)の資金借入額は、次の1. から3. に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
 1. 換金代金の支払資金の手当てのために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 2. 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 3. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
 - (3) (2)の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
 - (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- m. デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。
- n. 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

外国株式マザーファンド

(1) 投資方針

MSCI-KOKUSAI インデックス（除く日本：円ベース）の採用国に上場または店頭登録されている銘柄を主要投資対象とします。

MSCI-KOKUSAI インデックス（除く日本：円ベース）をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目指します。

国別配分については、各市場のマクロ、ミクロ分析に基づき機動的に変更を行います。

業種配分については、マクロ・セミマクロ経済分析に基づいて決定します。

銘柄選択については、成長性の水準と変化率、バリュエーションなどを考慮して決定します。

株式の組入比率は、原則として高位とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。

外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。ただし、市場動向等により為替ヘッジを行う場合があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

(2) 投資対象

日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。

(3) 投資制限

- a. 株式への投資割合には制限を設けません。
- b. 外貨建資産への投資には制限を設けません。

- c. 委託会社は、取得時において信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。
- d. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- e. (1) 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。
- (2) (1)の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託会社が投資することを指図できるものとします。
- f. (1) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- (2) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- g. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (2) (1)の信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、(2)の売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとします。
- h. (1) 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。
- (2) 委託会社は、信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引および先物オプション取引を行うことの指図をすることができます。
- i. 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
- j. (1) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- (2) 為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として約款に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (3) 為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、純資産総額が減少

して、為替先渡取引の想定元本の合計額が純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

(4) 為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。

(5) 委託会社は、為替先渡取引を行うにあたり担保の提供を要求されその必要性を認めるときあるいは担保の受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

(6) jに規定する「為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間に係る為替スワップ取引（同一の相手方との間で直物外国為替取引および当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。）のスワップ幅（当該直物外国為替取引に係る外国為替相場と当該先物外国為替取引に係る外国為替相場との差を示す数値をいいます。）を取り決め、その取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金に係る決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

k. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の1.から2.の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。

1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。

2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。

(2) (1)に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。

(3) 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

l. 外貨建資産への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

m. (1) 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産のヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。

(2) (1)の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約と信託財産にかかる為替の売予約との差額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。

(3) (2)の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

n. 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債、転換社債型新株予約権付社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

- o. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) (1)の資金借入額は、次の1. から3. に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
1. 換金代金の支払資金の手当てのために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 2. 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 3. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) (2)の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- p. デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。
- q. 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

外国債券マザーファンド

(1) 投資方針

FTSE世界国債インデックス構成国の国債を投資対象とします。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目指します。

機動的な国別配分の変更、デュレーション・マネジメントなどによるアクティブ運用を行います。

公社債の組入比率は、原則として高位とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。

外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。ただし、市場動向等により為替ヘッジを行う場合があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

(2) 投資対象

日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。

(3) 投資制限

- a. 外貨建資産への投資には制限を設けません。
- b. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- c. (1) 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引なら

びに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。

(2) 委託会社は、信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引および先物オプション取引を行うことの指図をすることができます。

(3) 委託会社は、わが国の金融商品取引所等における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

d. 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。

e. (1) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。

(2) 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として約款に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

(3) 金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、信託財産にかかるヘッジ対象金利商品の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、上記ヘッジ対象金利商品の時価総額の合計額が減少して、金利先渡取引の想定元本の合計額がヘッジ対象金利商品の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

(4) 為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、純資産総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の合計額が純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

(5) 金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。

(6) 委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行うにあたり担保の提供を要求されその必要性を認めるときあるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

(7) eに規定する「金利先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日（以下「決済日」といいます。）における決済日から一定の期間を経過した日（以下「満期日」といいます。）までの期間に係る国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率（以下「指標利率」といいます。）の数値を取り決め、その取り決めに係る数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額および当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

(8) eに規定する「為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間に係る為替スワップ取引（同一の相手方との間で直物外国為替取引および当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。）のスワップ幅（当該直物外国

為替取引に係る外国為替相場と当該先物外国為替取引に係る外国為替相場との差を示す数値をいいます。)を取り決め、その取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金に係る決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

- f . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する公社債を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- (2) (1) に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (3) 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- g . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、公社債（信託財産により借入れた公社債を含みます。）の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (2) (1) の売付の指図は、当該売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、(2) の売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。
- h . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- (2) (1) の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、(2) の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- (4) (3) の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。
- i . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- j . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一発行体の発行する公社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません（ただし、国債は除きます。）。
- k . 外貨建資産への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

- l . (1) 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産のヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- (2) (1)の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約と信託財産にかかる為替の売予約との差額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- (3) (2)の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内にその超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。
- m . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) (1)の資金借入額は、次の1. から3. に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
 1. 換金代金の支払資金の手当のために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 2. 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 3. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) (2)の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- n . デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。
- o . 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

3【投資リスク】

(1) 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。

したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

株価変動リスク

株式の価格は、発行企業の業績や財務状況、市場・経済の状況等を反映して変動します。特に企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株価が大きく下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

債券価格変動リスク

債券（公社債）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。一般に市場金利が上昇した場合や発行体の信用度が低下した場合には債券の価格は下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

外貨建資産は通貨の価格変動によって評価額が変動します。一般に外貨建資産の評価額は、円高になれば下落します。外貨建資産の評価額が下落した場合、基準価額が値下がりする要因となります。

カントリーリスク

投資対象国・地域の政治経済情勢に混乱が生じた場合や新たな通貨規制・資本規制が設けられた場合は、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

信用リスク

有価証券の発行者、または金融商品の運用先に債務不履行等が発生または懸念される場合、有価証券または金融商品等の価格は下落し、もしくは価値がなくなることがあります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。

流動性リスク

市場規模や取引量が小さい場合や、市場の混乱等のために、市場における取引の不成立や通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。

基準価額の変動要因（リスク）は、上記に限定されるものではありません。

(2) その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

分配金に関する留意点

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入頂いた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

マザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該ベビーファンドの購入・換金等による資金変動に伴い、マザーファンドにおいても売買が生じ、ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

（３）リスクの管理体制

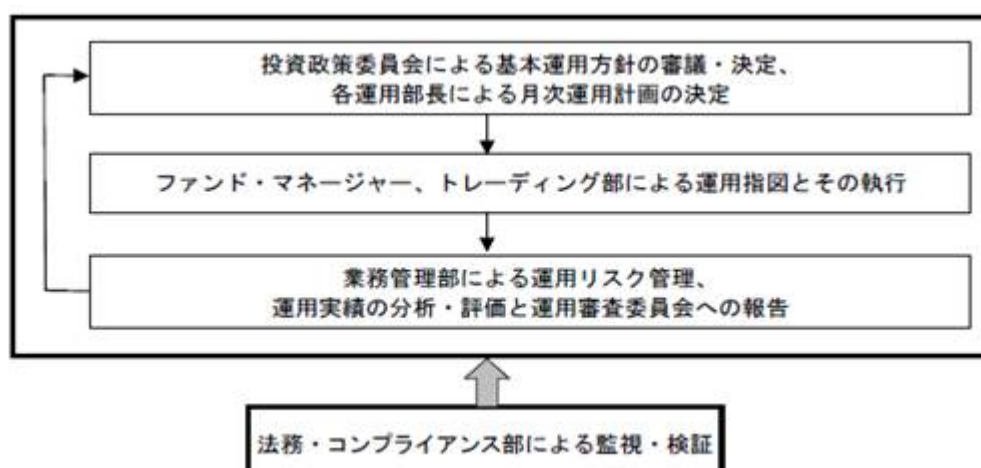
委託会社では、運用部門は定められた運用プロセスを通じて投資リスクを管理します。

また、運用部門から独立した部門がファンドのパフォーマンス分析・評価および法令・運用諸規則等に照らした適正性の審査等の結果について、各種委員会等に報告を行い、必要に応じて適切な措置を講じる体制となっております。

委託会社の投資リスクに対する管理体制は、以下の通りです。

委託会社は、社内規程において投資リスクに関する取扱い基準およびその管理体制についても定めており、下記の運用体制のサイクル自体が、投資リスクの管理体制を兼ねたものとなっております。

- ・ファンド・マネージャーは定期的に、投資環境および市況見通し、ポートフォリオの状況および運用成果等をモニタリングして運用リスクの管理を行いつつ、原則として月次にて（投資環境および市況の著しい変化等に対応する場合には随時）運用計画の見直しを行い、各運用部長による承認を経て、実際の運用指図を行い、トレーディング部がその執行を行っています。
- ・業務管理部は、運用リスク管理を所管するとともに、ファンドのパフォーマンス分析・評価等を月次にて行い、運用審査委員会に報告を行うことにより、運用成績の改善のサポートを行っています。
- ・法務・コンプライアンス部は、法令、約款等、運用諸規則・運用制限に照らした適正性の監視・検証を行い、コンプライアンス委員会および取締役会に報告を行っています。

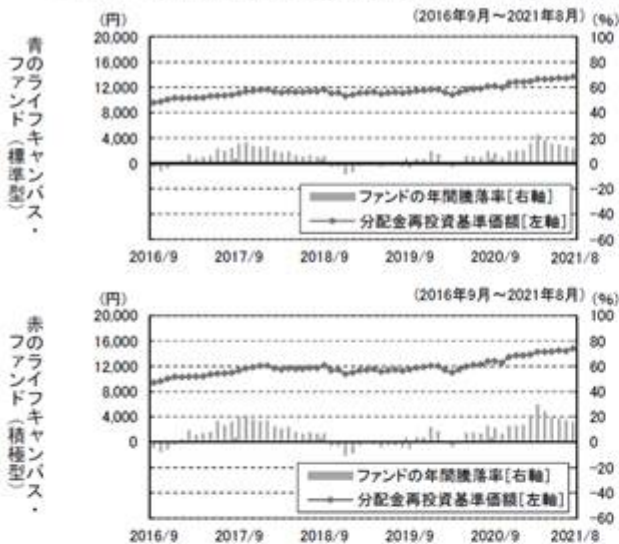


リスクの管理体制は2021年8月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

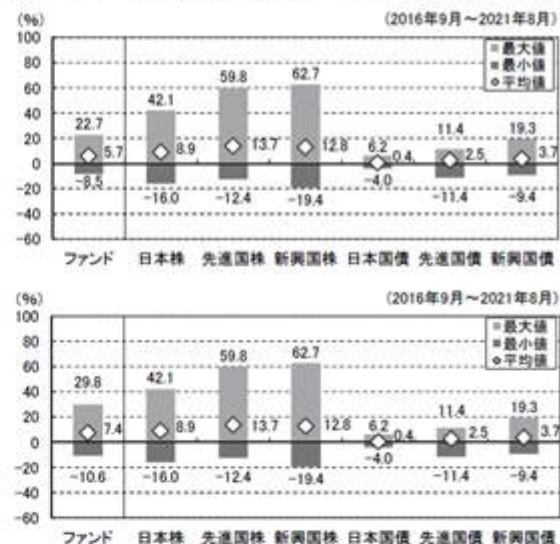
< 参考情報 >

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

＜ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移＞



＜ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較＞



(注) ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されており、実際の基準価額及び実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

- ★左のグラフの分配金再投資基準価額は、2016年9月末の基準価額を起点として指数化したものです。
- ★右のグラフは、2016年9月から2021年8月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- ★右のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ★上記の騰落率は2021年8月末から遡って算出した結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

○各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ★詳細は「指数に関して」をご参照ください。

●指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIX に関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

★2022年4月4日より、東京証券取引所の市場区分は再編される予定です。

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは MSCI が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI が開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われる T&D アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLC は、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLC は、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利は FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイドは、JP モルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権は JP モルガン社に帰属します。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

2.20%（税抜2.0%）を上限として販売会社が個別に定める率を、発行価格に乗じて得た額とします。

申込手数料は、ファンドの商品説明、販売に係る事務費用等の対価です。

なお、収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

(2)【換金（解約）手数料】

ありません。

(3)【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年1.32%（税抜1.20%）の率を乗じて得た額とします。

信託報酬の配分については、以下の通りとします。

[信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率] (年率・税抜)

支払先	信託報酬率	対価の内容
委託会社	0.52%	委託した資金の運用等の対価
販売会社	0.60%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	0.08%	運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

上記の信託報酬の総額は日々費用計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。

(4)【その他の手数料等】

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産の財務諸表にかかる監査費用（税込）は、信託財産中から支弁します。

証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産中から支弁します。

その他の手数料等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の手数料等の合計額については、受益者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

マザーファンドには、信託報酬および監査費用はありません。

(5)【課税上の取扱い】

ファンドは、課税上は株式投資信託として取り扱われます。

公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。

個人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金は、配当所得として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率により源泉徴収が行われます。確定申告は不要ですが、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。

換金時および償還時の差益（譲渡益）については、譲渡所得として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座（源泉徴収選択口座）を利用した場合は、原則として確定申告は不要です。

なお、換金時および償還時の損益については、確定申告により、上場株式等の譲渡損益および申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA」をご利用の場合

NISAおよびジュニアNISAは、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額については、15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）の税率により源泉徴収が行われます（地方税の源泉徴収はありません。）。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の個別元本にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回購入した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、同一ファンドを複数の販売会社で購入する場合は販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを購入する場合は当該支店毎に、一般コースと自動継続投資コースの両コースで購入する場合はコース別に、個別元本の算出が行われる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。

受益者が収益分配金を受取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

税金の取扱いについては、2021年8月末日現在のものであり、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【青のライフキャンパス・ファンド（標準型）】

（1）【投資状況】

資産の種類別、地域別の投資状況

（2021年8月31日現在）

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,664	97.78
現金・預金・その他の資産（負債差引後）	日本	38	2.22
合計（純資産総額）	-	1,702	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（2）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．評価額上位銘柄（全銘柄）

（2021年8月31日現在）

	国名	種類	銘柄名	数量（口）	簿価単価（円） 簿価金額（円）	時価単価（円） 時価金額（円）	投資比率 （％）
1	日本	親投資信託 受益証券	国内債券 マザーファンド	422,888,224	1.4400 608,959,043	1.4509 613,568,524	36.06
2	日本	親投資信託 受益証券	国内株式 マザーファンド	354,545,002	1.6382 580,830,696	1.6651 590,352,882	34.69
3	日本	親投資信託 受益証券	外国株式 マザーファンド	77,427,059	3.0133 233,310,957	3.5644 275,981,009	16.22
4	日本	親投資信託 受益証券	外国債券 マザーファンド	61,753,881	2.8948 178,765,135	2.9802 184,038,916	10.81

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

ロ．投資有価証券の種類別比率

（2021年8月31日現在）

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	97.78
合計	97.78

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】**【純資産の推移】**

2021年8月末日及び同日前1年以内における各月末及び直近10計算期間末日の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (単位:百万円)	純資産総額 (分配付) (単位:百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落) (単位:円)	1口当たりの 純資産額 (分配付) (単位:円)
第12期 計算期間 (2012年2月15日現在)	3,370	3,370	0.7732	0.7732
第13期 計算期間 (2013年2月15日現在)	1,016	1,016	0.8771	0.8771
第14期 計算期間 (2014年2月17日現在)	1,120	1,154	0.9934	1.0244
第15期 計算期間 (2015年2月16日現在)	1,163	1,291	0.9989	1.1089
第16期 計算期間 (2016年2月15日現在)	1,212	1,212	0.9456	0.9456
第17期 計算期間 (2017年2月15日現在)	1,311	1,331	1.0182	1.0342
第18期 計算期間 (2018年2月15日現在)	1,314	1,438	1.0053	1.1003
第19期 計算期間 (2019年2月15日現在)	1,386	1,386	0.9868	0.9868
第20期 計算期間 (2020年2月17日現在)	1,400	1,483	0.9952	1.0542
2020年8月末日	1,530	-	1.0310	-
2020年9月末日	1,540	-	1.0343	-
2020年10月末日	1,507	-	1.0166	-
2020年11月末日	1,592	-	1.0746	-
2020年12月末日	1,609	-	1.0898	-
2021年1月末日	1,609	-	1.0903	-
第21期 計算期間 (2021年2月15日現在)	1,485	1,658	1.0057	1.1227
2021年2月末日	1,599	-	0.9826	-
2021年3月末日	1,644	-	1.0089	-
2021年4月末日	1,645	-	1.0091	-
2021年5月末日	1,652	-	1.0124	-
2021年6月末日	1,672	-	1.0218	-
2021年7月末日	1,667	-	1.0191	-
2021年8月末日	1,702	-	1.0382	-

【分配の推移】

	1口当たりの分配金（円）
第12期 計算期間（2012年2月15日）	0.0000
第13期 計算期間（2013年2月15日）	0.0000
第14期 計算期間（2014年2月17日）	0.0310
第15期 計算期間（2015年2月16日）	0.1100
第16期 計算期間（2016年2月15日）	0.0000
第17期 計算期間（2017年2月15日）	0.0160
第18期 計算期間（2018年2月15日）	0.0950
第19期 計算期間（2019年2月15日）	0.0000
第20期 計算期間（2020年2月17日）	0.0590
第21期 計算期間（2021年2月15日）	0.1170

【収益率の推移】

	収益率（％）
第12期 計算期間（2011年2月16日～2012年2月15日）	5.64
第13期 計算期間（2012年2月16日～2013年2月15日）	13.44
第14期 計算期間（2013年2月16日～2014年2月17日）	16.79
第15期 計算期間（2014年2月18日～2015年2月16日）	11.63
第16期 計算期間（2015年2月17日～2016年2月15日）	5.34
第17期 計算期間（2016年2月16日～2017年2月15日）	9.37
第18期 計算期間（2017年2月16日～2018年2月15日）	8.06
第19期 計算期間（2018年2月16日～2019年2月15日）	1.84
第20期 計算期間（2019年2月16日～2020年2月17日）	6.83
第21期 計算期間（2020年2月18日～2021年2月15日）	12.81
第22期 計算期間中（2021年2月16日～2021年8月31日）	3.23

（注）収益率とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た額に100を乗じて得た数字です。ただし、第22期計算期間中については2021年8月31日の基準価額から前期末基準価額を控除した額を前期末基準価額で除して得た額に100を乗じて得た数字です。（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数
第12期 計算期間（2011年2月16日～2012年2月15日）	40,602,931	8,991,049
第13期 計算期間（2012年2月16日～2013年2月15日）	12,552,738	3,212,469,518
第14期 計算期間（2013年2月16日～2014年2月17日）	12,664,726	44,200,046
第15期 計算期間（2014年2月18日～2015年2月16日）	46,233,343	9,102,232
第16期 計算期間（2015年2月17日～2016年2月15日）	129,643,314	12,200,138
第17期 計算期間（2016年2月16日～2017年2月15日）	16,400,831	10,782,684
第18期 計算期間（2017年2月16日～2018年2月15日）	35,448,552	15,448,500
第19期 計算期間（2018年2月16日～2019年2月15日）	127,368,282	30,279,304
第20期 計算期間（2019年2月16日～2020年2月17日）	22,184,875	19,491,878
第21期 計算期間（2020年2月18日～2021年2月15日）	100,118,841	30,189,346
第22期 計算期間中（2021年2月16日～2021年8月31日）	167,524,786	5,374,270

（注）設定口数および解約口数は、全て本邦内におけるものです。

【赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）】**（１）【投資状況】**

資産の種類別、地域別の投資状況

（2021年8月31日現在）

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,765	98.06
現金・預金・その他の資産（負債差引後）	日本	35	1.94
合計（純資産総額）	-	1,800	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．評価額上位銘柄（全銘柄）

（2021年8月31日現在）

	国名	種類	銘柄名	数量（口）	簿価単価（円） 簿価金額（円）	時価単価（円） 時価金額（円）	投資比率 （％）
1	日本	親投資信託 受益証券	国内株式 マザーファンド	494,806,965	1.6385 810,755,160	1.6651 823,903,077	45.78
2	日本	親投資信託 受益証券	国内債券 マザーファンド	265,128,640	1.4399 381,758,729	1.4509 384,675,143	21.37
3	日本	親投資信託 受益証券	外国株式 マザーファンド	91,884,343	3.0139 276,930,222	3.5644 327,512,552	18.20
4	日本	親投資信託 受益証券	外国債券 マザーファンド	76,782,361	2.8948 222,269,579	2.9802 228,826,792	12.71

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

□．投資有価証券の種類別比率

(2021年8月31日現在)

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	98.06
合計	98.06

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

2021年8月末日及び同日前1年以内における各月末及び直近10計算期間末日の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (単位:百万円)	純資産総額 (分配付) (単位:百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落) (単位:円)	1口当たりの 純資産額 (分配付) (単位:円)
第12期 計算期間 (2012年2月15日現在)	2,984	2,984	0.6931	0.6931
第13期 計算期間 (2013年2月15日現在)	929	929	0.8062	0.8062
第14期 計算期間 (2014年2月17日現在)	1,112	1,112	0.9718	0.9718
第15期 計算期間 (2015年2月16日現在)	1,142	1,266	0.9996	1.1086
第16期 計算期間 (2016年2月15日現在)	1,167	1,167	0.9294	0.9294
第17期 計算期間 (2017年2月15日現在)	1,289	1,312	1.0221	1.0401
第18期 計算期間 (2018年2月15日現在)	1,257	1,441	0.9842	1.1282
第19期 計算期間 (2019年2月15日現在)	1,378	1,378	0.9576	0.9576
第20期 計算期間 (2020年2月17日現在)	1,432	1,499	0.9933	1.0393
2020年8月末日	1,571	-	1.0428	-
2020年9月末日	1,580	-	1.0478	-
2020年10月末日	1,548	-	1.0262	-
2020年11月末日	1,660	-	1.1011	-
2020年12月末日	1,690	-	1.1208	-
2021年1月末日	1,692	-	1.1221	-
第21期 計算期間 (2021年2月15日現在)	1,520	1,759	1.0075	1.1655

2021年2月末日	1,681	-	0.9793	-
2021年3月末日	1,738	-	1.0104	-
2021年4月末日	1,737	-	1.0090	-
2021年5月末日	1,741	-	1.0131	-
2021年6月末日	1,764	-	1.0249	-
2021年7月末日	1,754	-	1.0197	-
2021年8月末日	1,800	-	1.0449	-

【分配の推移】

	1口当たりの分配金（円）
第12期 計算期間（2012年2月15日）	0.0000
第13期 計算期間（2013年2月15日）	0.0000
第14期 計算期間（2014年2月17日）	0.0000
第15期 計算期間（2015年2月16日）	0.1090
第16期 計算期間（2016年2月15日）	0.0000
第17期 計算期間（2017年2月15日）	0.0180
第18期 計算期間（2018年2月15日）	0.1440
第19期 計算期間（2019年2月15日）	0.0000
第20期 計算期間（2020年2月17日）	0.0460
第21期 計算期間（2021年2月15日）	0.1580

【収益率の推移】

	収益率（％）
第12期 計算期間（2011年2月16日～2012年2月15日）	7.61
第13期 計算期間（2012年2月16日～2013年2月15日）	16.32
第14期 計算期間（2013年2月16日～2014年2月17日）	20.54
第15期 計算期間（2014年2月18日～2015年2月16日）	14.08
第16期 計算期間（2015年2月17日～2016年2月15日）	7.02
第17期 計算期間（2016年2月16日～2017年2月15日）	11.91
第18期 計算期間（2017年2月16日～2018年2月15日）	10.38
第19期 計算期間（2018年2月16日～2019年2月15日）	2.70
第20期 計算期間（2019年2月16日～2020年2月17日）	8.53
第21期 計算期間（2020年2月18日～2021年2月15日）	17.34
第22期 計算期間中（2021年2月16日～2021年8月31日）	3.71

（注）収益率とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た額に100を乗じて得た数字です。ただし、第22期計算期間中については2021年8月31日の基準価額から前期末基準価額を控除した額を前期末基準価額で除して得た額に100を乗じて得た数字です。（小数点以下第3位を四捨五入して算出してあります。）

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数
第12期 計算期間（2011年2月16日～2012年2月15日）	14,830,454	9,924,127

第13期 計算期間(2012年2月16日～2013年2月15日)	19,621,585	3,173,494,977
第14期 計算期間(2013年2月16日～2014年2月17日)	14,030,315	21,414,278
第15期 計算期間(2014年2月18日～2015年2月16日)	19,585,121	21,872,442
第16期 計算期間(2015年2月17日～2016年2月15日)	124,032,171	10,592,842
第17期 計算期間(2016年2月16日～2017年2月15日)	17,393,529	11,855,677
第18期 計算期間(2017年2月16日～2018年2月15日)	33,961,459	17,679,802
第19期 計算期間(2018年2月16日～2019年2月15日)	181,897,955	20,457,826
第20期 計算期間(2019年2月16日～2020年2月17日)	17,875,811	14,586,474
第21期 計算期間(2020年2月18日～2021年2月15日)	76,824,036	9,929,111
第22期 計算期間中(2021年2月16日～2021年8月31日)	228,450,961	14,941,608

(注) 設定口数および解約口数は、全て本邦内におけるものです。

(参考) マザーファンドの状況

国内株式マザーファンド

(1) 投資状況

親投資信託資産の種類別、地域別の投資状況

(2021年8月31日現在)

資産の種類	国名	時価合計(百万円)	投資比率(%)
株式	日本	8,274	98.42
現金・預金・その他の資産(負債差引後)	日本	133	1.58
合計(純資産総額)	-	8,407	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。)

（２）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ．評価額上位銘柄（30銘柄）

（2021年8月31日現在）

	国名	種類	業種	銘柄名	数量 (株)	簿価単価(円) 簿価金額(円)	時価単価(円) 時価金額(円)	投資 比率 (%)
1	日本	株式	電気機器	日本電産	23,600	14,738.29 347,823,814	12,620.00 297,832,000	3.54
2	日本	株式	電気機器	ソニーグループ	23,500	11,936.01 280,496,334	11,360.00 266,960,000	3.18
3	日本	株式	輸送用機器	トヨタ自動車	26,000	9,206.73 239,375,164	9,592.00 249,392,000	2.97
4	日本	株式	サービス業	リクルートホールディングス	38,200	5,152.68 196,832,560	6,500.00 248,300,000	2.95
5	日本	株式	輸送用機器	デンソー	32,100	6,949.38 223,075,265	7,710.00 247,491,000	2.94
6	日本	株式	卸売業	伊藤忠商事	71,400	3,156.63 225,383,405	3,311.00 236,405,400	2.81
7	日本	株式	電気機器	イビデン	37,400	5,022.90 187,856,799	5,940.00 222,156,000	2.64
8	日本	株式	機械	ダイキン工業	7,700	22,482.49 173,115,184	27,405.00 211,018,500	2.51
9	日本	株式	精密機器	オリンパス	85,300	2,337.37 199,378,022	2,311.50 197,170,950	2.35
10	日本	株式	電気機器	日立製作所	32,200	4,967.33 159,948,081	6,085.00 195,937,000	2.33
11	日本	株式	電気機器	ローム	17,800	11,255.62 200,350,077	10,620.00 189,036,000	2.25
12	日本	株式	医薬品	第一三共	71,300	3,129.22 223,113,438	2,614.50 186,413,850	2.22
13	日本	株式	化学	J S R	48,800	3,430.74 167,420,482	3,815.00 186,172,000	2.21
14	日本	株式	精密機器	HOYA	10,100	13,494.07 136,290,174	17,780.00 179,578,000	2.14
15	日本	株式	情報・通信業	野村総合研究所	42,500	3,585.10 152,366,871	4,135.00 175,737,500	2.09
16	日本	株式	卸売業	ミスミグループ本社	39,700	3,550.60 140,959,068	4,365.00 173,290,500	2.06
17	日本	株式	化学	信越化学工業	9,300	18,731.61 174,204,058	18,205.00 169,306,500	2.01
18	日本	株式	電気機器	ミネベアミツミ	59,200	2,822.34 167,082,704	2,833.00 167,713,600	1.99
19	日本	株式	食料品	アサヒグループホールディングス	30,500	4,762.59 145,259,149	5,114.00 155,977,000	1.86
20	日本	株式	医薬品	中外製薬	35,100	4,479.88 157,243,894	4,308.00 151,210,800	1.80
21	日本	株式	情報・通信業	Zホールディングス	210,400	606.24 127,554,847	717.00 150,856,800	1.79
22	日本	株式	電気機器	太陽誘電	23,700	5,692.23 134,905,959	6,240.00 147,888,000	1.76

23	日本	株式	精密機器	朝日インテック	44,400	2,954.12 131,163,306	3,330.00 147,852,000	1.76
24	日本	株式	輸送用機器	スズキ	30,500	4,835.42 147,480,463	4,756.00 145,058,000	1.73
25	日本	株式	サービス業	エス・エム・エス	36,300	3,641.31 132,179,749	3,895.00 141,388,500	1.68
26	日本	株式	化学	メック	41,900	2,184.43 91,527,833	3,365.00 140,993,500	1.68
27	日本	株式	銀行業	三菱UFJフィナンシャル・グループ	234,500	590.27 138,419,597	594.40 139,386,800	1.66
28	日本	株式	小売業	セブン&アイ・ホールディングス	28,800	4,848.86 139,647,310	4,815.00 138,672,000	1.65
29	日本	株式	電気機器	東京エレクトロン	2,700	45,443.95 122,698,665	47,240.00 127,548,000	1.52
30	日本	株式	機械	栗田工業	23,900	4,347.89 103,914,597	5,160.00 123,324,000	1.47

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

ロ. 投資有価証券の種類別及び業種別比率

(2021年8月31日現在)

種類	業種	投資比率(%)
株式	電気機器	20.41
株式	情報・通信業	11.39
株式	サービス業	9.33
株式	輸送用機器	7.64
株式	精密機器	7.33
株式	化学	7.32
株式	機械	7.31
株式	卸売業	6.15
株式	医薬品	5.66
株式	建設業	3.35
株式	小売業	3.33
株式	食料品	1.86
株式	銀行業	1.66
株式	陸運業	1.29
株式	保険業	1.23
株式	不動産業	1.12
株式	証券、商品先物取引業	1.11
株式	その他金融業	0.94
合計		98.42

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各業種の評価額比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

国内債券マザーファンド

(1) 投資状況

親投資信託資産の種類別、地域別の投資状況

(2021年8月31日現在)

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
国債証券	日本	8,398	78.73
地方債証券	日本	101	0.94
特殊債券	日本	1,182	11.08
社債券	日本	907	8.51
現金・預金・その他の資産（負債差引後）	日本	79	0.74
合計（純資産総額）	-	10,667	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。)

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄（30銘柄）

(2021年8月31日現在)

	国名	種類	銘柄名	券面総額（円）	簿価単価（円） 簿価金額（円）	時価単価（円） 時価金額（円）	投資 比率 （％）	クー ポン （％）	償還日
1	日本	国債証券	第143回利付国債（5年）	466,000,000	100.88 470,114,780	100.81 469,816,540	4.40	0.10	2025/3/20
2	日本	国債証券	第142回利付国債（5年）	388,000,000	100.82 391,216,520	100.76 390,956,560	3.67	0.10	2024/12/20
3	日本	国債証券	第344回利付国債（10年）	350,000,000	101.03 353,605,000	101.11 353,913,000	3.32	0.10	2026/9/20
4	日本	国債証券	第352回利付国債（10年）	325,000,000	100.95 328,087,500	101.45 329,732,000	3.09	0.10	2028/9/20
5	日本	国債証券	第136回利付国債（5年）	283,000,000	100.51 284,447,410	100.41 284,171,620	2.66	0.10	2023/6/20
6	日本	国債証券	第153回利付国債（20年）	245,000,000	114.45 280,402,500	115.31 282,519,300	2.65	1.30	2035/6/20
7	日本	国債証券	第137回利付国債（5年）	251,000,000	100.56 252,412,850	100.48 252,212,330	2.36	0.10	2023/9/20
8	日本	国債証券	第139回利付国債（5年）	250,000,000	100.72 251,800,000	100.60 251,500,000	2.36	0.10	2024/3/20
9	日本	国債証券	第356回利付国債（10年）	217,000,000	100.72 218,581,930	101.41 220,074,890	2.06	0.10	2029/9/20
10	日本	国債証券	第351回利付国債（10年）	215,000,000	100.99 217,134,950	101.43 218,091,700	2.04	0.10	2028/6/20
11	日本	国債証券	第157回利付国債（20年）	208,000,000	98.31 204,499,360	99.78 207,550,720	1.95	0.20	2036/6/20
12	日本	国債証券	第138回利付国債（5年）	200,000,000	100.64 201,282,000	100.54 201,084,000	1.89	0.10	2023/12/20
13	日本	国債証券	第414回利付国債（2年）	200,000,000	100.32 200,644,000	100.18 200,372,000	1.88	0.10	2022/7/1

14	日本	国債証券	第177回利付国債(20年)	200,000,000	100.18 200,372,000	100.00 200,000,000	1.87	0.40	2041/6/20
15	日本	国債証券	第346回利付国債(10年)	176,000,000	101.07 177,883,200	101.22 178,161,280	1.67	0.10	2027/3/20
16	日本	国債証券	第60回利付国債(30年)	157,000,000	106.47 167,157,900	108.24 169,938,370	1.59	0.90	2048/9/20
17	日本	国債証券	第355回利付国債(10年)	164,000,000	100.79 165,295,600	101.45 166,381,280	1.56	0.10	2029/6/20
18	日本	国債証券	第164回利付国債(20年)	156,000,000	101.92 159,003,000	103.47 161,427,240	1.51	0.50	2038/3/20
19	日本	国債証券	第129回利付国債(5年)	155,000,000	100.13 155,201,500	100.01 155,015,500	1.45	0.10	2021/9/20
20	日本	国債証券	第1回利付国債(30年)	117,000,000	123.79 144,835,470	123.14 144,073,800	1.35	2.80	2029/9/20
21	日本	国債証券	第167回利付国債(20年)	139,000,000	101.25 140,750,790	103.11 143,335,410	1.34	0.50	2038/12/20
22	日本	国債証券	第168回利付国債(20年)	139,000,000	99.26 137,984,740	101.32 140,847,310	1.32	0.40	2039/3/20
23	日本	国債証券	第161回利付国債(20年)	133,000,000	103.86 138,137,790	105.39 140,180,670	1.31	0.60	2037/6/20
24	日本	国債証券	第61回利付国債(30年)	132,000,000	101.26 133,668,900	103.07 136,053,720	1.28	0.70	2048/12/20
25	日本	国債証券	第354回利付国債(10年)	132,000,000	100.84 133,108,800	101.48 133,956,240	1.26	0.10	2029/3/20
26	日本	国債証券	第155回利付国債(20年)	111,000,000	110.25 122,387,490	111.35 123,604,050	1.16	1.00	2035/12/20
27	日本	国債証券	第347回利付国債(10年)	120,000,000	101.08 121,298,400	101.28 121,540,800	1.14	0.10	2027/6/20
28	日本	国債証券	第144回利付国債(5年)	120,000,000	100.93 121,117,000	100.87 121,053,600	1.13	0.10	2025/6/20
29	日本	国債証券	第55回利付国債(30年)	105,000,000	104.43 109,651,500	106.36 111,687,450	1.05	0.80	2047/6/20
30	日本	特殊債券	第16回公営企業債券(20年)	100,000,000	109.98 109,982,000	108.93 108,935,000	1.02	2.10	2025/12/19

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

ロ. 投資有価証券の種類別比率

(2021年8月31日現在)

種類	投資比率(%)
国債証券	78.73
地方債証券	0.94
特殊債券	11.08
社債券	8.51
合計	99.26

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

外国株式マザーファンド

(1) 投資状況

(2021年8月31日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(百万円)	投資比率(%)
株式	アメリカ	3,435	70.24
	フランス	172	3.52
	スイス	165	3.37
	イギリス	161	3.29
	カナダ	153	3.13
	ドイツ	131	2.68
	アイルランド	109	2.24
	オランダ	103	2.11
	オーストラリア	91	1.86
	デンマーク	50	1.02
	スウェーデン	43	0.87
	香港	34	0.70
	ジャージー	22	0.44
	スペイン	19	0.38
	バミューダ諸島	18	0.36
	イタリア	18	0.36
	シンガポール	16	0.32
	ベルギー	9	0.19
	フィンランド	7	0.14
	キュラソー	4	0.07
	イスラエル	3	0.06
ルクセンブルク	3	0.05	
小計		4,764	97.41
投資証券	アメリカ	61	1.25
	オーストラリア	12	0.25
	イギリス	5	0.11
	香港	2	0.04
	小計		80
現金・預金・その他の資産 (負債差引後)	日本	47	0.95
合計(純資産総額)	-	4,891	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。)

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄（30銘柄）

（2021年8月31日現在）

	国/ 地域	種類	通貨	業種	銘柄名	数量 (株)	簿価単価 (現地通貨) 簿価金額 (円)	時価単価 (現地通貨) 時価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	株式	USドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	APPLE INC	13,457	135.34 200,157,614	153.12 226,452,888	4.63
2	アメリカ	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	MICROSOFT CORP	5,824	245.00 156,814,112	303.59 194,315,086	3.97
3	アメリカ	株式	USドル	小売	AMAZON.COM INC	335	3,279.97 120,757,015	3,421.57 125,970,231	2.58
4	アメリカ	株式	USドル	メディア・娯楽	ALPHABET INC-CL A	288	2,095.03 66,310,213	2,891.81 91,529,256	1.87
5	アメリカ	株式	USドル	メディア・娯楽	ALPHABET INC-CL C	284	2,105.71 65,722,578	2,909.39 90,806,716	1.86
6	アメリカ	株式	USドル	メディア・娯楽	FACEBOOK INC-A	1,989	271.42 59,329,996	380.66 83,208,888	1.70
7	アメリカ	株式	USドル	半導体・半導体製造装置	NVIDIA CORP	2,369	149.91 39,029,533	226.88 59,068,911	1.21
8	アメリカ	株式	USドル	銀行	JPMORGAN CHASE & CO	2,871	141.25 44,567,609	160.44 50,622,494	1.04
9	アメリカ	株式	USドル	自動車・自動車部品	TESLA, INC	606	810.52 53,980,591	730.91 48,678,167	1.00
10	アメリカ	株式	USドル	ヘルスケア機器・サービス	UNITEDHEALTH GROUP INC	1,051	328.24 37,913,328	418.30 48,315,699	0.99
11	アメリカ	株式	USドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	JOHNSON & JOHNSON	2,477	166.58 45,346,790	173.66 47,274,124	0.97
12	オランダ	株式	ユーロ	半導体・半導体製造装置	ASML HOLDING NV	474	495.40 30,453,753	709.60 43,621,283	0.89
13	アメリカ	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	VISA INC-CLASS A SHARES	1,711	210.29 39,544,177	231.23 43,480,234	0.89
14	アメリカ	株式	USドル	銀行	BANK OF AMERICA CORP	8,690	33.37 31,869,384	41.66 39,786,591	0.81
15	アメリカ	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	PAYPAL HOLDINGS INC	1,202	298.16 39,386,876	288.47 38,106,829	0.78
16	アメリカ	株式	USドル	家庭用品・パーソナル用品	PROCTER & GAMBLE CO/THE	2,380	128.53 33,619,135	142.93 37,385,056	0.76
17	アメリカ	株式	USドル	メディア・娯楽	WALT DISNEY CO/THE	1,888	187.54 38,913,154	179.98 37,344,266	0.76
18	アメリカ	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	MASTERCARD INC-CLASS A	922	342.10 34,664,240	353.05 35,773,779	0.73
19	スイス	株式	スイスフラン	食品・飲料・タバコ	NESTLE SA-REG	2,535	100.88 30,664,978	116.98 35,555,661	0.73
20	アメリカ	株式	USドル	各種金融	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	1,096	242.94 29,262,220	285.66 34,407,861	0.70
21	アメリカ	株式	USドル	小売	HOME DEPOT INC	936	277.51 28,546,454	327.10 33,647,599	0.69
22	アメリカ	株式	USドル	ヘルスケア機器・サービス	DANAHER CORP	893	245.99 24,141,630	327.01 32,092,990	0.66
23	アメリカ	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	ADOBE INC	434	500.68 23,881,067	665.99 31,765,458	0.65

24	フランス	株式	ユーロ	耐久消費財・アパレル	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	367	529.30 25,192,684	625.00 29,747,643	0.61
25	アメリカ	株式	USドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	451	507.83 25,170,543	558.53 27,683,483	0.57
26	スイス	株式	スイスフラン	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	620	314.24 23,360,560	365.80 27,192,840	0.56
27	アメリカ	株式	USドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	PFIZER INC	5,264	34.84 20,155,413	46.76 27,051,295	0.55
28	アメリカ	株式	USドル	メディア・娯楽	COMCAST CORP-CL A	4,000	53.23 23,399,908	59.71 26,248,516	0.54
29	アメリカ	株式	USドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ABBVIE INC	1,953	104.44 22,416,448	120.57 25,878,505	0.53
30	アイルランド	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	ACCENTURE PLC-CL A	688	257.47 19,467,615	337.00 25,480,974	0.52

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

ロ. 投資有価証券の種類別及び業種別比率

(2021年8月31日現在)

種類	業種	投資比率(%)
株式	ソフトウェア・サービス	12.26
株式	メディア・娯楽	8.12
株式	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.05
株式	資本財	6.61
株式	銀行	6.41
株式	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.11
株式	各種金融	5.49
株式	半導体・半導体製造装置	5.39
株式	小売	5.14
株式	ヘルスケア機器・サービス	5.13
株式	素材	4.57
株式	食品・飲料・タバコ	3.30
株式	エネルギー	2.93
株式	自動車・自動車部品	2.38
株式	耐久消費財・アパレル	2.30
株式	運輸	2.29
株式	保険	2.14
株式	家庭用品・パーソナル用品	2.00
株式	公益事業	1.97
株式	消費者サービス	1.56
株式	食品・生活必需品小売り	1.21
株式	電気通信サービス	1.02
株式	商業・専門サービス	0.71
株式	不動産	0.31
	小計	97.41

投資証券	不動産	1.64
合計		99.05

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各業種の評価額比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

外国債券マザーファンド

（１）投資状況

親投資信託資産の種類別、地域別の投資状況

（2021年8月31日現在）

資産の種類	国 / 地域	時価合計（百万円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	1,085	49.68
	イタリア	190	8.70
	フランス	187	8.58
	イギリス	162	7.43
	スペイン	112	5.13
	ポーランド	94	4.32
	オランダ	52	2.40
	ベルギー	47	2.16
	ドイツ	47	2.14
	カナダ	43	1.97
	オーストリア	40	1.85
	アイルランド	34	1.54
	フィンランド	21	0.94
	メキシコ	13	0.60
	シンガポール	13	0.58
	オーストラリア	12	0.54
	イスラエル	9	0.39
	ノルウェー	5	0.24
	小計		2,165
現金・預金・その他の資産 （負債差引後）	日本	18	0.82
合計（純資産総額）	-	2,183	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（２）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ．評価額上位銘柄（30銘柄）

（2021年8月31日現在）

	国/ 地域	通貨	種類	銘柄名	券面総額 (現地通貨)	簿価単価 (現地通貨) 簿価金額 (円)	時価単価 (現地通貨) 時価金額 (円)	投資 比率 (%)	クー ポン (%)	償還日
1	アメリカ	USD	国債 証券	US TREASURY N/B	3,890,000	106.98 457,368,467	105.88 452,677,369	20.74	2.38	2024/8/15
2	アメリカ	USD	国債 証券	US TREASURY N/B	1,870,000	103.75 213,219,737	102.69 211,052,217	9.67	2.00	2023/2/15
3	アメリカ	USD	国債 証券	US TREASURY N/B	1,440,000	105.01 166,193,526	103.51 163,825,868	7.50	1.50	2026/8/15
4	ポーランド	ズロチ	国債 証券	POLAND GOVT BOND	3,150,000	105.51 94,511,727	105.19 94,229,281	4.32	2.50	2024/4/25
5	イギリス	イギリスポンド	国債 証券	UK TSY GILT	350,000	167.65 88,761,454	167.62 88,748,853	4.07	4.50	2042/12/7
6	アメリカ	USD	国債 証券	US TREASURY N/B	500,000	147.87 81,257,312	147.25 80,913,875	3.71	4.63	2040/2/15
7	アメリカ	USD	国債 証券	US TREASURY N/B	590,000	120.95 78,425,291	120.60 78,204,324	3.58	3.00	2042/5/15
8	イタリア	ユーロ	国債 証券	BTPS	360,000	168.56 78,697,967	162.85 76,032,059	3.48	5.00	2040/9/1
9	スペイン	ユーロ	国債 証券	SPANISH GOV'T	470,000	111.69 68,079,857	108.59 66,196,216	3.03	5.40	2023/1/31
10	アメリカ	USD	国債 証券	US TREASURY N/B	530,000	103.69 60,396,314	103.68 60,394,858	2.77	1.63	2029/8/15
11	フランス	ユーロ	国債 証券	FRANCE O.A.T.	410,000	108.64 57,767,038	107.94 57,394,828	2.63	0.75	2028/5/25
12	オランダ	ユーロ	国債 証券	NETHERLANDS GOVT	290,000	142.63 53,647,046	139.40 52,428,479	2.40	5.50	2028/1/15
13	フランス	ユーロ	国債 証券	FRANCE O.A.T.	230,000	165.93 49,496,512	161.74 48,246,490	2.21	3.25	2045/5/25
14	フランス	ユーロ	国債 証券	FRANCE O.A.T.	310,000	117.45 47,222,214	116.24 46,735,023	2.14	1.50	2031/5/25
15	イギリス	イギリスポンド	国債 証券	UK TSY GILT	220,000	141.01 46,927,705	139.58 46,452,518	2.13	6.00	2028/12/7
16	カナダ	カナダドル	国債 証券	CANADA-GOV'T	480,000	102.66 42,945,567	102.69 42,961,422	1.97	1.50	2024/9/1
17	イタリア	ユーロ	国債 証券	BTPS	270,000	123.14 43,119,071	120.83 42,310,195	1.94	4.50	2026/3/1
18	アメリカ	USD	国債 証券	US TREASURY N/B	270,000	124.61 36,975,643	126.28 37,473,752	1.72	3.13	2048/5/15
19	アイルランド	ユーロ	国債 証券	IRISH GOVT	210,000	124.64 33,947,349	123.26 33,570,554	1.54	2.40	2030/5/15
20	ドイツ	ユーロ	国債 証券	DEUTSCHLAND REP	175,000	130.67 29,658,352	134.02 30,417,071	1.39	1.25	2048/8/15
21	イタリア	ユーロ	国債 証券	BTPS	160,000	142.38 29,544,419	139.02 28,847,206	1.32	6.50	2027/11/1
22	イタリア	ユーロ	国債 証券	BTPS	140,000	154.85 28,115,495	151.30 27,470,935	1.26	6.00	2031/5/1
23	スペイン	ユーロ	国債 証券	SPANISH GOV'T	130,000	169.93 28,649,688	160.69 27,093,487	1.24	3.45	2066/7/30
24	フランス	ユーロ	国債 証券	FRANCE O.A.T.	190,000	104.77 25,816,480	104.33 25,709,291	1.18	0.50	2025/5/25
25	ベルギー	ユーロ	国債 証券	BELGIAN 0333	120,000	140.00 21,788,962	137.82 21,449,646	0.98	3.00	2034/6/22

26	オーストリア	ユーロ	国債証券	REP OF AUSTRIA	160,000	100.40 20,835,061	101.97 21,160,705	0.97	0.00	2031/2/20
27	フィンランド	ユーロ	国債証券	FINNISH GOV'T	150,000	105.76 20,575,577	105.42 20,509,455	0.94	0.50	2026/4/15
28	オーストリア	ユーロ	国債証券	REP OF AUSTRIA	90,000	167.98 19,607,300	165.18 19,280,085	0.88	3.15	2044/6/20
29	スペイン	ユーロ	国債証券	SPANISH GOV'T	130,000	110.72 18,667,059	110.39 18,611,844	0.85	1.45	2027/10/31
30	イギリス	イギリスポンド	国債証券	UK TSY GILT	110,000	108.08 17,985,352	107.73 17,926,700	0.82	2.75	2024/9/7

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

ロ. 投資有価証券の種類別比率

(2021年8月31日現在)

種類	投資比率(%)
国債証券	99.18
合計	99.18

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(参考) 運用実績

青のライフキャンパス・ファンド(標準型)

(2021年8月31日現在)

基準価額・純資産の推移



※分配金再投資基準価額は収益分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算したものです。
 ※基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後の値です。

分配の推移(1万口当たり、税引き前)

2021年2月	1,170円
2020年2月	590円
2019年2月	0円
2018年2月	950円
2017年2月	160円
設定来累計	4,850円

主要な資産の状況

●組入上位銘柄

国内株式マザーファンド	銘柄名(銘柄数 61)	業種	比率	
	日本電産	電気機器	1.2%	
	ソニーグループ	電気機器	1.1%	
	トヨタ自動車	輸送用機器	1.0%	
国内債券マザーファンド	銘柄名(銘柄数 89)	償還年月日	比率	
	第143回利付国債(5年)	2025/3/20	1.6%	
	第142回利付国債(5年)	2024/12/20	1.3%	
	第344回利付国債(10年)	2026/9/20	1.2%	
外国株式マザーファンド	銘柄名(銘柄数 株式 425 投資証券 13)	国	業種	比率
	APPLE INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.8%
	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.6%
外国債券マザーファンド	銘柄名(銘柄数 43)	国	償還年月日	比率
	US TREASURY N/B 2.375	アメリカ	2024/8/15	2.2%
	US TREASURY N/B 2.0	アメリカ	2023/2/15	1.0%

※組入上位銘柄の比率はマザーファンドへの投資を通じた実質組入比率です。

●投資比率

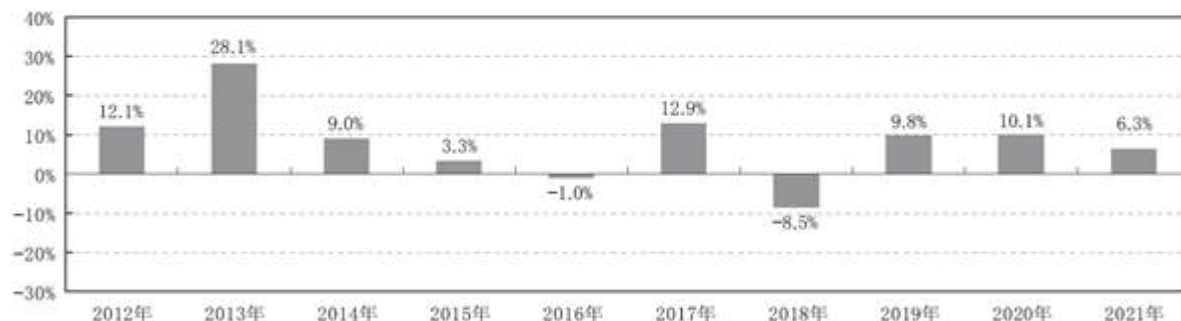
国内株式	34.1%
国内債券	35.8%
外国株式	16.1%
外国債券	10.7%
現預金等	3.3%
合計	100.0%

※投資比率はマザーファンドへの投資を通じた実質組入比率です。

※外国株式には、投資証券を含みます。

※比率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、合計の数値が必ずしも100とはなりません。

年間収益率の推移(暦年ベース)



※ファンドの収益率は分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。

※2021年は年初から8月末までの収益率を表示しています。

◆運用実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

◆最新の運用状況は委託会社のホームページでご覧いただけます。

赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）

（2021年8月31日現在）

基準価額・純資産の推移



※分配金再投資基準価額は収益分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算したものです。
※基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後の値です。

分配の推移(1万口当たり、税引き前)

2021年2月	1,580円
2020年2月	460円
2019年2月	0円
2018年2月	1,440円
2017年2月	180円
設定来累計	5,220円

主要な資産の状況

●組入上位銘柄

国内株式マザーファンド	銘柄名(銘柄数 61)	業種	比率	
	日本電産	電気機器	1.6%	
	ソニーグループ	電気機器	1.5%	
	トヨタ自動車	輸送用機器	1.4%	
	リクルートホールディングス	サービス業	1.4%	
国内債券マザーファンド	銘柄名(銘柄数 89)	償還年月日	比率	
	第143回利付国債(5年)	2025/3/20	0.9%	
	第142回利付国債(5年)	2024/12/20	0.8%	
外国株式マザーファンド	銘柄名(銘柄数 株式 425 投資証券 13)	国	業種	比率
	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ソフトウェア	0.8%
	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.7%
外国債券マザーファンド	銘柄名(銘柄数 43)	国	償還年月日	比率
	US TREASURY N/B 2.375	アメリカ	2024/8/15	2.6%
	US TREASURY N/B 2.0	アメリカ	2023/2/15	1.2%

※組入上位銘柄の比率はマザーファンドへの投資を通じた実質組入比率です。

●投資比率

国内株式	45.1%
国内債券	21.2%
外国株式	18.0%
外国債券	12.6%
現金・預金等	3.1%
合計	100.0%

※投資比率はマザーファンドへの投資を通じた実質組入比率です。
※外国株式には、投資証券を含みます。
※比率は、表示指数未満を四捨五入しているため、合計の数値が必ずしも100とはなりません。

年間収益率の推移（暦年ベース）



※ファンドの収益率は分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。

※2021年は年初から8月末までの収益率を表示しています。

◆運用実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

◆最新の運用状況は委託会社のホームページでご覧いただけます。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

ファンドの購入申込は、販売会社において取引口座を開設のうえ行うものとします。購入申込は、毎営業日に販売会社で受付けます。購入申込の受付けは、原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付けとなります。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもあります。また、販売会社により受付時間が変更になることもありますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

申込方法には、収益の分配時に収益分配金を受取る「一般コース」と、収益分配金が税引後無手数料で再投資される「自動継続投資コース」があります。販売会社によりお取扱いが可能なコース等が異なる場合がありますのでご注意ください。

「自動継続投資コース」を選択された場合には、販売会社との間で「自動継続投資契約」を締結していただきます。

これと異なる名称で同一の権利義務関係を規定した契約を含むものとします。

受益権の購入価額（発行価格）は、購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。購入価額に申込口数を乗じて得た金額が申込金額となります。

ファンドの購入申込者は販売会社に、購入申込と同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたファンドの受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該購入申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社（委託会社の指定する口座管理機関を含みます。）は、当該購入申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該購入申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

申込手数料につきましては、前述「第1ファンドの状況 4 手数料等及び税金（1）申込手数料」をご参照ください。

購入申込者は、購入代金を払込期日までにお申込みの販売会社に支払うものとします。払込期日につきましては、販売会社までお問い合わせください。

金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入申込の受付けを中止することおよびすでに受付けた購入申込の受付けを取消すことがあります。

2【換金（解約）手続等】

受益者は、販売会社が定める単位をもって委託会社に換金申込を行うことができます。換金申込の受付けは、原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付けとなります。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもあります。また、販売会社により受付時間が変更になることもありますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

委託会社は、換金申込を受付けた場合には、この信託契約の一部を解約します。

ファンドの換金申込を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

換金価額（解約価額）は、換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

換金申込をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金申込の受付けを中止することおよびすでに受付けた換金申込の受付けを取消することができます。なお、換金申込の受付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った前日および当日の換金申込を撤回できます。ただし、受益者がその換金申込を撤回しない場合には、当該受益権の換金価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に換金申込を受付けたものとして の規定に準じて計算された価額とします。

換金代金は、受益者の請求を受付けた日から起算して、原則として5営業日目から販売会社において支払います。ただし、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、上記原則による支払開始日が遅延する場合があります。

換金価額につきましては、委託会社または販売会社にお問い合わせください。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

基準価額とは信託財産の純資産総額を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

ファンドおよびマザーファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

ファンドの主な投資対象

マザーファンド：原則としてファンドの基準価額計算日の基準価額で評価します。

マザーファンドの主な投資対象

- ・国内株式：原則として基準価額計算日の金融商品取引所の終値で評価します。
- ・外国株式：原則として金融商品取引所における計算時に知りうる直近の日の最終相場で評価します。
- ・公社債：a. 上場銘柄

原則として、金融商品取引所の計算日における最終相場により評価します。

計算日に最終相場がない場合には計算日の気配相場により評価します。

b. 非上場銘柄

原則として、以下のいずれかから入手した価額で評価します。

- ・日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）
- ・金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場は除く。）
- ・価格情報会社の提供する価額

残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法により評価することができます。

基準価額は毎営業日算出され、販売会社にお問い合わせいただければ、お知らせいたします。また、基準価額は原則として翌日の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

基準価額につきましては、下記においてもご照会いただけます。

T & Dアセットマネジメント株式会社

電話番号 03-6722-4810（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

（２）【保管】

ありません。

（３）【信託期間】

ファンドの信託期間は原則無期限ですが、後述「（５）その他 信託の終了」の規定により信託を終了させる場合があります。

（４）【計算期間】

ファンドの計算期間は、毎年2月16日から翌年2月15日までとします。該当日が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日の翌日以降の最初の営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

（５）【その他】

信託の終了

a . ファンドの繰上償還

- (1) 委託会社は、信託契約の一部を解約することにより、受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合には、受託会社と合意のうえ、あらかじめ、監督官庁に届け出ることにより、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
- (2) 委託会社は、信託期間中において、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めたとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- (3) 委託会社は、(1)、(2)の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面をこの信託契約に係る知れている受益者に対して交付します。ただし、この信託契約に係る全ての受益者に対し書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- (4) (3)の公告および書面には、受益者で異議のある者は、一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- (5) (4)の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、(1)、(2)の信託契約の解約をしません。
- (6) 委託会社は、この信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知れている受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- (7) (4)から(6)までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、(4)の一定の期間が一月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しません。

b . 委託会社は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。

c . 委託会社が、監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。なお、監督官庁が、この信託契約に関する委託会

社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、後述「 信託約款の変更 d 」に該当する場合を除き、当該委託会社と受託会社との間において存続します。

- d . 受託会社が辞任する場合または受託会社を解任する場合、委託会社は、後述「 信託約款の変更」の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更

- a . 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。
- b . 委託会社は、 a . の変更事項のうち、その内容が重大なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託約款に係る知っている受益者に対して交付します。ただし、この信託約款に係る全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- c . 上記 b の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- d . 上記 c の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、 a の信託約款の変更をしません。
- e . 委託会社は、当該信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知っている受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- f . 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、前述の規定にしたがいます。

関係法人との契約の更改に関する手続き

委託会社が販売会社と締結している「投資信託受益権の取扱に関する契約」は、契約満了日の3ヵ月前までに当事者から別段の意思表示のない限り、1年毎に自動更新されます。

公告

委託会社が投資者に対してする公告は、原則として電子公告により行い、委託会社のホームページ（<https://www.tdasstet.co.jp/>）に掲載します。ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

運用に係る報告等開示方法

毎決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知っている受益者に交付します。運用報告書（全体版）は、委託会社のホームページにおいて開示します。ただし、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は以下の通りです。なお、受益者は、自己に帰属する受益権の口数に応じて、均等にファンドの受益権を保有します。

（1）収益分配金の請求権

受益者は、ファンドの収益分配金を自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金に係る決算日以前において換金が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る計算期間の末日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として購入申込者とし、）に、原則として決算日から起算して5営業日目までに支払いを開始します。収益分配金の支払いは、販売会社の営業所等にて行うものとします。ただし、受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

上記に関わらず自動継続投資コースを選択した受益者に対しては、分配金は税引後無手数料で再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

（２）償還金の請求権

受益者は、ファンドの償還金を自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において換金が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として購入申込者とし、）に支払います。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託会社がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

償還金は、原則として信託終了日から起算して5営業日目までに支払いを開始します。償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行います。ただし、受益者が償還金について支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

（３）換金（解約）請求権

受益者は、受益権の換金申込を販売会社を通じて委託会社に申込みすることができます。権利行使の方法等については、前述「２ 換金（解約）手続等」をご参照ください。

（４）帳簿閲覧権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

- 1．当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しており、金額は円単位で表示しております
- 2．当ファンドは、第21期計算期間（2020年2月18日から2021年2月15日まで）の財務諸表について、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【青のライフキャンパス・ファンド（標準型）】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第20期 (2020年2月17日現在)	第21期 (2021年2月15日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	135,865,896	237,845,957
親投資信託受益証券	1,357,226,051	1,430,781,241
流動資産合計	1,493,091,947	1,668,627,198
資産合計	1,493,091,947	1,668,627,198
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	83,012,245	172,799,255
未払解約金	911	-
未払受託者報酬	646,328	687,837
未払委託者報酬	9,048,441	9,629,573
未払利息	292	337
その他未払費用	129,201	137,506
流動負債合計	92,837,418	183,254,508
負債合計	92,837,418	183,254,508
純資産の部		
元本等		
元本	1,406,987,220	1,476,916,715
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	6,732,691	8,455,975
(分配準備積立金)	-	15,267,270
元本等合計	1,400,254,529	1,485,372,690
純資産合計	1,400,254,529	1,485,372,690
負債純資産合計	1,493,091,947	1,668,627,198

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
営業収益		
受取利息	3	-
有価証券売買等損益	113,915,273	208,555,190
営業収益合計	113,915,276	208,555,190
営業費用		
支払利息	26,936	30,398
受託者報酬	1,248,010	1,312,737
委託者報酬	17,471,860	18,378,138
その他費用	249,823	262,461
営業費用合計	18,996,629	19,983,734
営業利益	94,918,647	188,571,456
経常利益	94,918,647	188,571,456
当期純利益	94,918,647	188,571,456
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	573,549	508,764
期首剰余金又は期首欠損金 ()	18,576,692	6,732,691
剰余金増加額又は欠損金減少額	511,148	148,444
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	254,935	148,444
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	256,213	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	223,215
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	223,215
分配金	83,012,245	172,799,255
期末剰余金又は期末欠損金 ()	6,732,691	8,455,975

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3 その他	当ファンドの前計算期間の期末が休日のため、当計算期間は、2020年2月18日から2021年2月15日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

第20期 (2020年2月17日現在)	第21期 (2021年2月15日現在)
1 計算期間の末日における受益権の総数 1,406,987,220口	1 計算期間の末日における受益権の総数 1,476,916,715口
2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 6,732,691円	-
3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9952円 (1万口当たり純資産額 9,952円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0057円 (1万口当たり純資産額 10,057円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

期別	第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後配当等収益(0円)、費用控除後有価証券売買等損益(68,727,069円)、収益調整金(4,682,714円)、及び分配準備積立金(13,542,219円)より、分配対象収益は86,952,002円(1万口当たり618円)であり、うち83,012,245円(1万口当たり590円)を分配金額としております。	計算期間末における費用控除後配当等収益(0円)、費用控除後有価証券売買等損益(188,066,525円)、収益調整金(4,135,285円)、及び分配準備積立金(0円)より、分配対象収益は192,201,810円(1万口当たり1,301円)であり、うち172,799,255円(1万口当たり1,170円)を分配金額としております。

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

	第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であります。 有価証券等の金融商品に対して、信託約款及び委託会社で定めた投資ガイドラインや運用計画書等に従い、投資として運用することを目的としております。	同左
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	金融商品の内容は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務となります。有価証券の詳細については、(その他の注記)2 有価証券関係に記載の通りです。 有価証券に係るリスクとしては、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、流動性リスクなどがあります。	同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、運用部門と独立した運用審査委員会を設け、パフォーマンスの分析・評価及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 価格変動リスク等の市場リスクに関しては、パフォーマンスの実績等の状況を常時分析・把握し、投資方針に従っているかを管理しております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。	同左
4 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれることがあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	第20期 (2020年2月17日現在)	第21期 (2021年2月15日現在)
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2 貸借対照表の科目ごとの時価の算定方法	親投資信託受益証券については、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）の1 運用資産の評価基準及び評価方法に記載の通りです。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務については、時価が帳簿価額と近似しているため帳簿価額を時価としております。	同左

(関連当事者との取引に関する注記)

第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
該当事項はありません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

項 目	第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
期首元本額	1,404,294,223 円	1,406,987,220 円
期中追加設定元本額	22,184,875 円	100,118,841 円
期中一部解約元本額	19,491,878 円	30,189,346 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

第20期（自 2019年2月16日 至 2020年2月17日）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	99,069,061 円
合計	99,069,061 円

第21期（自 2020年2月18日 至 2021年2月15日）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	176,582,875 円
合計	176,582,875 円

3 デリバティブ取引関係

第20期（自 2019年2月16日 至 2020年2月17日）

該当事項はありません。

第21期（自 2020年2月18日 至 2021年2月15日）

該当事項はありません。

(4) 【附属明細表】

有価証券明細表

a. 株式

該当事項はありません。

b. 株式以外の有価証券

(2021年2月15日現在)

種類	銘柄	券面総額（口）	評価額（円）	備考
親投資信託受益証券	国内株式マザーファンド	292,026,483	478,981,837	
	国内債券マザーファンド	348,499,311	501,978,407	
	外国株式マザーファンド	85,842,617	257,287,491	
	外国債券マザーファンド	66,510,124	192,533,506	
合計		792,878,535	1,430,781,241	

(注) 親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第20期 (2020年2月17日現在)	第21期 (2021年2月15日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	129,853,142	314,687,937
親投資信託受益証券	1,378,787,435	1,454,926,710
流動資産合計	1,508,640,577	1,769,614,647
資産合計	1,508,640,577	1,769,614,647
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	66,336,341	238,420,310
未払解約金	104	-
未払受託者報酬	648,838	714,919
未払委託者報酬	9,083,678	10,008,785
未払利息	279	446
その他未払費用	129,707	142,914
流動負債合計	76,198,947	249,287,374
負債合計	76,198,947	249,287,374
純資産の部		
元本等		
元本	1,442,094,385	1,508,989,310
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	9,652,755	11,337,963
（分配準備積立金）	69,724,032	90,121,960
元本等合計	1,432,441,630	1,520,327,273
純資産合計	1,432,441,630	1,520,327,273
負債純資産合計	1,508,640,577	1,769,614,647

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
営業収益		
受取利息	3	-
有価証券売買等損益	136,929,555	280,139,275
営業収益合計	136,929,558	280,139,275
営業費用		
支払利息	28,637	31,926
受託者報酬	1,248,052	1,344,898
委託者報酬	17,472,559	18,828,441
その他費用	249,853	268,871
営業費用合計	18,999,101	20,474,136
営業利益	117,930,457	259,665,139
経常利益	117,930,457	259,665,139
当期純利益	117,930,457	259,665,139
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	525,820	391,877
期首剰余金又は期首欠損金 ()	61,032,154	9,652,755
剰余金増加額又は欠損金減少額	617,058	137,766
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	617,058	66,858
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	70,908
剰余金減少額又は欠損金増加額	305,955	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	305,955	-
分配金	66,336,341	238,420,310
期末剰余金又は期末欠損金 ()	9,652,755	11,337,963

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3 その他	当ファンドの前計算期間の期末が休日のため、当計算期間は、2020年2月18日から2021年2月15日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

第20期 (2020年2月17日現在)	第21期 (2021年2月15日現在)
1 計算期間の末日における受益権の総数 1,442,094,385口	1 計算期間の末日における受益権の総数 1,508,989,310口
2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 9,652,755円	-
3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9933円 (1万口当たり純資産額 9,933円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0075円 (1万口当たり純資産額 10,075円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

期別	第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後配当等収益(0円)、費用控除後有価証券売買等損益(79,444,450円)、収益調整金(34,720,293円)、及び分配準備積立金(56,615,923円)より、分配対象収益は170,780,666円(1万口当たり1,184円)であり、うち66,336,341円(1万口当たり460円)を分配金額としております。	計算期間末における費用控除後配当等収益(0円)、費用控除後有価証券売買等損益(259,276,776円)、収益調整金(40,023,512円)、及び分配準備積立金(69,265,494円)より、分配対象収益は368,565,782円(1万口当たり2,442円)であり、うち238,420,310円(1万口当たり1,580円)を分配金額としております。

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

	第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であります。 有価証券等の金融商品に対して、信託約款及び委託会社で定めた投資ガイドラインや運用計画書等に従い、投資として運用することを目的としております。	同左
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	金融商品の内容は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務となります。有価証券の詳細については、(その他の注記)2 有価証券関係に記載の通りです。 有価証券に係るリスクとしては、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、流動性リスクなどがあります。	同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、運用部門と独立した運用審査委員会を設け、パフォーマンスの分析・評価及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 価格変動リスク等の市場リスクに関しては、パフォーマンスの実績等の状況を常時分析・把握し、投資方針に従っているかを管理しております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。	同左
4 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれることがあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	第20期 (2020年2月17日現在)	第21期 (2021年2月15日現在)
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2 貸借対照表の科目ごとの時価の算定方法	親投資信託受益証券については、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）の1 運用資産の評価基準及び評価方法に記載の通りです。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務については、時価が帳簿価額と近似しているため帳簿価額を時価としております。	同左

(関連当事者との取引に関する注記)

第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
該当事項はありません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

項 目	第20期 (自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)
期首元本額	1,438,805,048 円	1,442,094,385 円
期中追加設定元本額	17,875,811 円	76,824,036 円
期中一部解約元本額	14,586,474 円	9,929,111 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

第20期（自 2019年2月16日 至 2020年2月17日）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	122,388,059 円
合計	122,388,059 円

第21期（自 2020年2月18日 至 2021年2月15日）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	234,202,221 円
合計	234,202,221 円

3 デリバティブ取引関係

第20期（自 2019年2月16日 至 2020年2月17日）

該当事項はありません。

第21期（自 2020年2月18日 至 2021年2月15日）

該当事項はありません。

（４）【附属明細表】

有価証券明細表

a . 株式

該当事項はありません。

b . 株式以外の有価証券

（2021年2月15日現在）

種類	銘柄	券面総額（口）	評価額（円）	備考
親投資信託受益証券	国内株式マザーファンド	396,846,376	650,907,425	
	国内債券マザーファンド	180,995,607	260,706,072	
	外国株式マザーファンド	102,520,774	307,275,263	
	外国債券マザーファンド	81,538,604	236,037,950	
合計		761,901,361	1,454,926,710	

（注）親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）マザーファンドの状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

当ファンドは「国内株式マザーファンド」、「国内債券マザーファンド」、「外国株式マザーファンド」、及び「外国債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同マザーファンド受益証券です。

（１）貸借対照表

国内株式マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（2020年2月17日現在）	（2021年2月15日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		111,435,019	15,403,786
株式		7,566,043,520	7,929,635,660
未収入金		44,578,573	-
未収配当金		9,124,900	8,937,600
流動資産合計		7,731,182,012	7,953,977,046
資産合計		7,731,182,012	7,953,977,046
負債の部			
流動負債			
未払金		50,499,190	-
未払利息		240	21
流動負債合計		50,499,430	21
負債合計		50,499,430	21
純資産の部			
元本等			
元本		6,469,596,867	4,849,320,777
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,211,085,715	3,104,656,248
元本等合計		7,680,682,582	7,953,977,025
純資産合計		7,680,682,582	7,953,977,025
負債純資産合計		7,731,182,012	7,953,977,046

国内債券マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（2020年2月17日現在）	（2021年2月15日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		30,795,513	46,667,275
国債証券		7,718,391,825	8,447,601,440
特殊債券		1,398,200,998	1,526,805,388
社債券		1,108,969,542	807,580,119
未収利息		10,566,250	13,031,205
前払費用		1,705,314	728,487
流動資産合計		10,268,629,442	10,842,413,914
資産合計		10,268,629,442	10,842,413,914
負債の部			
流動負債			
未払利息		66	66
流動負債合計		66	66
負債合計		66	66
純資産の部			
元本等			
元本		7,036,534,770	7,527,586,446
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		3,232,094,606	3,314,827,402
元本等合計		10,268,629,376	10,842,413,848
純資産合計		10,268,629,376	10,842,413,848
負債純資産合計		10,268,629,442	10,842,413,914

外国株式マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（2020年2月17日現在）	（2021年2月15日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		12,749,417	13,097,471
コール・ローン		38,508,821	32,045,335
株式		3,778,930,757	5,304,863,603
投資証券		88,302,723	75,460,183
派生商品評価勘定		741	-
未収入金		9,271,101	15,047,870
未収配当金		3,768,949	3,367,713
流動資産合計		3,931,532,509	5,443,882,175
資産合計		3,931,532,509	5,443,882,175
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		1,393	-
未払金		17,655,511	15,080,281
未払利息		82	45
流動負債合計		17,656,986	15,080,326
負債合計		17,656,986	15,080,326
純資産の部			
元本等			
元本		1,473,507,825	1,811,313,692
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		2,440,367,698	3,617,488,157
元本等合計		3,913,875,523	5,428,801,849
純資産合計		3,913,875,523	5,428,801,849
負債純資産合計		3,931,532,509	5,443,882,175

外国債券マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（2020年2月17日現在）	（2021年2月15日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		3,847,166	148,257
コール・ローン		6,329,974	6,957,125
国債証券		3,072,894,135	2,699,673,691
未収利息		30,371,057	21,863,650
前払費用		5,797,688	3,206,584
流動資産合計		3,119,240,020	2,731,849,307
資産合計		3,119,240,020	2,731,849,307
負債の部			
流動負債			
未払利息		13	9
流動負債合計		13	9
負債合計		13	9
純資産の部			
元本等			
元本		1,122,379,995	943,716,387
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,996,860,012	1,788,132,911
元本等合計		3,119,240,007	2,731,849,298
純資産合計		3,119,240,007	2,731,849,298
負債純資産合計		3,119,240,020	2,731,849,307

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

<p>1 運用資産の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)株式、投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価額のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場又は気配相場）で評価しております。</p> <p>(2)国債証券、特殊債券、社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、市場価額のあるものについてはその終値（終値のないものについてはそれに準ずる価額）、金融商品取引所に上場されていないものについては、以下のいずれかから入手した価額で評価しております。 日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）値段 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない） 価額情報会社の提供する価額 なお、買付にかかる約定日から1年以内で償還を迎える公社債等（償還日の前年応答日が到来したものを含む。）で価格変動性が限定的であり、償却原価法による評価方法が合理的かつ受益者の利益を害しないと投資信託委託会社が判断した場合には、当該方式によって評価しております。</p> <p>(3)為替予約 為替予約の評価は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物相場の仲値によって計算しております。</p>
<p>2 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準</p>	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p>
<p>3 費用・収益の計上基準</p>	<p>(1)受取配当金 国内有価証券については、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 外国有価証券については、原則として配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には、入金日基準で計上しております。</p> <p>(2)有価証券売買等損益、為替差損益 約定日基準で計上しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

（2020年2月17日現在）		（2021年2月15日現在）	
1 計算期間の末日における受益権の総数		1 計算期間の末日における受益権の総数	
国内株式マザーファンド	6,469,596,867口	国内株式マザーファンド	4,849,320,777口
国内債券マザーファンド	7,036,534,770口	国内債券マザーファンド	7,527,586,446口
外国株式マザーファンド	1,473,507,825口	外国株式マザーファンド	1,811,313,692口
外国債券マザーファンド	1,122,379,995口	外国債券マザーファンド	943,716,387口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額		2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
国内株式マザーファンド		国内株式マザーファンド	
1口当たり純資産額	1.1872円	1口当たり純資産額	1.6402円
（1万口当たり純資産額）	11,872円）	（1万口当たり純資産額）	16,402円）
国内債券マザーファンド		国内債券マザーファンド	
1口当たり純資産額	1.4593円	1口当たり純資産額	1.4404円
（1万口当たり純資産額）	14,593円）	（1万口当たり純資産額）	14,404円）
外国株式マザーファンド		外国株式マザーファンド	
1口当たり純資産額	2.6562円	1口当たり純資産額	2.9972円
（1万口当たり純資産額）	26,562円）	（1万口当たり純資産額）	29,972円）
外国債券マザーファンド		外国債券マザーファンド	
1口当たり純資産額	2.7791円	1口当たり純資産額	2.8948円
（1万口当たり純資産額）	27,791円）	（1万口当たり純資産額）	28,948円）

（その他の注記）

1 元本の移動

項 目	対象年月日	（2020年2月17日現在）	（2021年2月15日現在）
国内株式マザーファンド			
期首元本額		7,597,352,237 円	6,469,596,867 円
期中追加設定元本額		740,920,714 円	860,338,000 円
期中一部解約元本額		1,868,676,084 円	2,480,614,090 円
期末元本額		6,469,596,867 円	4,849,320,777 円
元本の内訳*			
青のライフキャンパス・ファンド （標準型）		394,802,342 円	292,026,483 円
赤のライフキャンパス・ファンド （積極型）		536,724,692 円	396,846,376 円
T & D 国内株式オープン S A （適格機関投資家専用）		5,538,069,833 円	4,160,447,918 円
合計		6,469,596,867 円	4,849,320,777 円
国内債券マザーファンド			
期首元本額		6,652,591,094 円	7,036,534,770 円
期中追加設定元本額		1,889,864,265 円	1,705,730,917 円
期中一部解約元本額		1,505,920,589 円	1,214,679,241 円
期末元本額		7,036,534,770 円	7,527,586,446 円
元本の内訳*			
青のライフキャンパス・ファンド （標準型）		331,191,665 円	348,499,311 円
赤のライフキャンパス・ファンド （積極型）		188,689,406 円	180,995,607 円

T & D 国内債券オープン (非課税適格機関投資家専用)	2,515,736,476 円	2,554,054,440 円
T & D 国内債券オープン S A (適格機関投資家専用)	4,000,917,223 円	4,444,037,088 円
合計	7,036,534,770 円	7,527,586,446 円
外国株式マザーファンド		
期首元本額	1,981,190,416 円	1,473,507,825 円
期中追加設定元本額	323,363,615 円	912,248,120 円
期中一部解約元本額	831,046,206 円	574,442,253 円
期末元本額	1,473,507,825 円	1,811,313,692 円
元本の内訳*		
青のライフキャンパス・ファンド (標準型)	87,110,915 円	85,842,617 円
赤のライフキャンパス・ファンド (積極型)	99,823,289 円	102,520,774 円
T & D 外国株オープン (非課税適格機関投資家専用)	252,190,594 円	252,721,212 円
T & D 外国株式オープン S A (適格機関投資家専用)	1,034,383,027 円	1,370,229,089 円
合計	1,473,507,825 円	1,811,313,692 円
外国債券マザーファンド		
期首元本額	1,222,225,695 円	1,122,379,995 円
期中追加設定元本額	229,780,858 円	247,951,152 円
期中一部解約元本額	329,626,558 円	426,614,760 円
期末元本額	1,122,379,995 円	943,716,387 円
元本の内訳*		
青のライフキャンパス・ファンド (標準型)	62,547,121 円	66,510,124 円
赤のライフキャンパス・ファンド (積極型)	72,355,371 円	81,538,604 円
T & D 外国債券オープン (非課税適格機関投資家専用)	223,633,390 円	141,613,865 円
T & D 外国債券オープン S A (適格機関投資家専用)	763,844,113 円	654,053,794 円
合計	1,122,379,995 円	943,716,387 円

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

2 売買目的有価証券の貸借対照表計上額等

(自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)

種類	貸借対照表計上額	当計算期間の損益に含まれた評価差額	
株式	11,344,974,277 円	1,533,704,199 円	
内 国内株式マザーファンド	7,566,043,520 円	842,249,326 円	
内 外国株式マザーファンド	3,778,930,757 円	691,454,873 円	
国債証券	10,791,285,960 円	135,838,229 円	
内 国内債券マザーファンド	7,718,391,825 円	17,118,365 円	
内 外国債券マザーファンド	3,072,894,135 円	118,719,864 円	
特殊債券	内 国内債券マザーファンド	1,398,200,998 円	6,237,363 円
社債券	内 国内債券マザーファンド	1,108,969,542 円	2,472,000 円
投資証券	内 外国株式マザーファンド	88,302,723 円	17,394,594 円
合計	24,731,733,500 円	1,678,227,659 円	

(自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)

種類	貸借対照表計上額	当計算期間の損益に含まれた評価差額	
株式	13,234,499,263 円	2,895,870,334 円	
内 国内株式マザーファンド	7,929,635,660 円	1,782,759,378 円	
内 外国株式マザーファンド	5,304,863,603 円	1,113,110,956 円	
国債証券	11,147,275,131 円	147,444,796 円	
内 国内債券マザーファンド	8,447,601,440 円	142,939,100 円	
内 外国債券マザーファンド	2,699,673,691 円	4,505,696 円	
特殊債券	内 国内債券マザーファンド	1,526,805,388 円	7,337,389 円
社債券	内 国内債券マザーファンド	807,580,119 円	1,809,000 円
投資証券	内 外国株式マザーファンド	75,460,183 円	2,540,034 円
合計	26,791,620,084 円	2,741,819,183 円	

3 デリバティブ取引関係

(自 2019年2月16日 至 2020年2月17日)

取引の状況に関する事項

1 取引の内容	当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、為替予約取引であります。
2 取引に対する取組みと利用目的	当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、外貨建有価証券の買付代金等の実需に対応する取引に限定しております。
3 取引に係るリスクの内容	当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、為替変動に係るリスクがあります。
4 取引に係るリスクの管理体制	当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、取引権限とリスク評価額の上限を定めた社内ルールに基づき、運用担当者が運用責任者の承認を得て運用指図を行っております。
5 取引の時価等に関する事項についての補足説明	取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

取引の時価等に関する事項

通貨関連

(単位：円)

区 分	種 類	契 約 額 等		時 価	評 価 損 益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買 建				
	USドル	549,000	-	548,900	100
	カナダドル	2,238,030	-	2,236,950	1,080
	オーストラリアドル	368,813	-	368,600	213
	スウェーデンクローナ	926,682	-	927,420	738
	ユーロ	475,837	-	475,840	3
	合 計	4,558,362	-	4,557,710	652

(注) 1 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

計算期間末日において為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によって評価しております。

- ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている対顧客先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いて評価しております。
- ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い日に発表されている対顧客先物相場の仲値を用いて評価しております。

2 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値により評価しております。

(自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

国内株式マザーファンド

有価証券明細表

a. 株式

(2021年2月15日現在)

銘柄	株式数	評価額（円）		備考
		単価	金額	
ショーボンドホールディングス	20,100	4,820.00	96,882,000	
協和エクシオ	30,900	2,844.00	87,879,600	
信越化学工業	8,900	18,740.00	166,786,000	
資生堂	14,200	8,180.00	116,156,000	
メック	48,200	2,167.00	104,449,400	
ニフコ	19,600	4,135.00	81,046,000	
中外製薬	9,200	5,148.00	47,361,600	
エーザイ	3,300	7,786.00	25,693,800	
小野薬品工業	29,000	3,146.00	91,234,000	
JCRファーマ	20,900	3,170.00	66,253,000	
第一三共	44,800	3,368.00	150,886,400	
東海カーボン	54,200	1,539.00	83,413,800	
三井金属鉱業	15,600	3,765.00	58,734,000	
住友金属鉱山	19,100	5,031.00	96,092,100	
SUMCO	33,900	2,485.00	84,241,500	
ディスコ	3,700	35,550.00	131,535,000	
小松製作所	32,800	3,262.00	106,993,600	
クボタ	65,300	2,584.00	168,735,200	
ダイキン工業	5,900	23,405.00	138,089,500	
栗田工業	23,300	4,320.00	100,656,000	
ダイフク	5,000	11,230.00	56,150,000	
イビデン	31,300	5,040.00	157,752,000	
日立製作所	16,500	4,846.00	79,959,000	
日本電産	19,600	14,990.00	293,804,000	
ソニー	26,400	11,970.00	316,008,000	
キーエンス	4,100	59,080.00	242,228,000	
ローム	7,000	11,860.00	83,020,000	
太陽誘電	10,900	5,630.00	61,367,000	
村田製作所	14,000	9,938.00	139,132,000	
小糸製作所	19,000	8,020.00	152,380,000	
デンソー	31,000	6,934.00	214,954,000	
トヨタ自動車	20,300	8,456.00	171,656,800	
本田技研工業	48,700	3,052.00	148,632,400	
スズキ	21,100	4,960.00	104,656,000	
オリンパス	64,000	2,314.00	148,096,000	
HOYA	13,600	13,190.00	179,384,000	

朝日インテック	18,600	3,255.00	60,543,000
西日本旅客鉄道	14,400	6,428.00	92,563,200
メディアドゥ	5,800	6,440.00	37,352,000
S H I F T	3,700	13,740.00	50,838,000
テクマトリックス	27,400	1,971.00	54,005,400
野村総合研究所	32,000	3,625.00	116,000,000
Zホールディングス	191,800	666.70	127,873,060
伊藤忠テクノソリューションズ	26,600	3,575.00	95,095,000
ネットワンシステムズ	26,600	3,570.00	94,962,000
ソフトバンクグループ	32,700	10,005.00	327,163,500
シップヘルスケアホールディングス	11,600	6,290.00	72,964,000
伊藤忠商事	69,700	3,140.00	218,858,000
三菱商事	66,000	2,888.00	190,608,000
ミスミグループ本社	38,600	3,555.00	137,223,000
くら寿司	16,800	7,120.00	119,616,000
クスリのアオキホールディングス	6,300	8,800.00	55,440,000
パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	33,600	2,685.00	90,216,000
ファーストリテイリング	1,100	99,460.00	109,406,000
S B Iホールディングス	33,600	3,215.00	108,024,000
第一生命ホールディングス	71,800	1,875.50	134,660,900
東京海上ホールディングス	23,300	5,560.00	129,548,000
S R Eホールディングス	22,300	5,060.00	112,838,000
パーク24	44,900	2,337.00	104,931,300
エス・エム・エス	21,600	3,855.00	83,268,000
エムスリー	5,200	9,003.00	46,815,600
オリエンタルランド	5,200	17,765.00	92,378,000
シグマックス	43,400	1,900.00	82,460,000
リクルートホールディングス	40,600	5,142.00	208,765,200
東祥	55,300	1,728.00	95,558,400
共立メンテナンス	13,800	3,745.00	51,681,000
建設技術研究所	31,300	2,418.00	75,683,400
合計	1,891,000		7,929,635,660

b. 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

国内債券マザーファンド

有価証券明細表

a. 株式

該当事項はありません。

b. 株式以外の有価証券

（2021年2月15日現在）

種類	銘柄	額面総額（円）	評価額（円）	備考
国債証券	第405回利付国債（2年）	25,000,000	25,034,000	
	第413回利付国債（2年）	90,000,000	90,266,400	
	第414回利付国債（2年）	200,000,000	200,644,000	
	第128回利付国債（5年）	130,000,000	130,087,100	
	第129回利付国債（5年）	155,000,000	155,201,500	
	第136回利付国債（5年）	83,000,000	83,437,410	
	第137回利付国債（5年）	101,000,000	101,590,850	
	第141回利付国債（5年）	100,000,000	100,793,000	
	第142回利付国債（5年）	388,000,000	391,216,520	
	第143回利付国債（5年）	466,000,000	470,114,780	
	第144回利付国債（5年）	70,000,000	70,640,500	
	第145回利付国債（5年）	80,000,000	80,775,200	
	第5回利付国債（40年）	34,000,000	46,471,200	
	第8回利付国債（40年）	25,000,000	30,401,750	
	第339回利付国債（10年）	6,000,000	6,133,380	
	第342回利付国債（10年）	50,000,000	50,498,000	
	第344回利付国債（10年）	450,000,000	454,675,500	
	第346回利付国債（10年）	196,000,000	198,097,200	
	第347回利付国債（10年）	120,000,000	121,298,400	
	第348回利付国債（10年）	150,000,000	151,638,000	
	第350回利付国債（10年）	70,000,000	70,721,700	
	第351回利付国債（10年）	215,000,000	217,134,950	
	第352回利付国債（10年）	585,000,000	590,557,500	
	第353回利付国債（10年）	61,000,000	61,550,220	
	第354回利付国債（10年）	182,000,000	183,545,180	
	第355回利付国債（10年）	264,000,000	266,088,240	
	第356回利付国債（10年）	217,000,000	218,581,930	
	第357回利付国債（10年）	108,000,000	108,666,360	
	第1回利付国債（30年）	117,000,000	144,835,470	
	第43回利付国債（30年）	60,000,000	74,970,000	
	第45回利付国債（30年）	50,000,000	60,393,500	
	第50回利付国債（30年）	72,000,000	75,468,960	
	第52回利付国債（30年）	50,000,000	48,782,500	
第55回利付国債（30年）	105,000,000	109,651,500		
第56回利付国債（30年）	98,000,000	102,260,060		

	第58回利付国債(30年)	76,000,000	79,172,240	
	第59回利付国債(30年)	81,000,000	82,321,920	
	第60回利付国債(30年)	257,000,000	273,630,470	
	第61回利付国債(30年)	152,000,000	153,972,960	
	第62回利付国債(30年)	55,000,000	52,851,700	
	第65回利付国債(30年)	90,000,000	83,721,600	
	第66回利付国債(30年)	40,000,000	37,189,600	
	第129回利付国債(20年)	80,000,000	93,965,600	
	第144回利付国債(20年)	80,000,000	92,656,800	
	第152回利付国債(20年)	25,000,000	28,251,000	
	第153回利付国債(20年)	295,000,000	337,645,200	
	第155回利付国債(20年)	111,000,000	122,387,490	
	第157回利付国債(20年)	208,000,000	204,499,360	
	第158回利付国債(20年)	222,000,000	227,934,060	
	第159回利付国債(20年)	220,000,000	229,114,600	
	第160回利付国債(20年)	100,000,000	105,571,000	
	第161回利付国債(20年)	133,000,000	138,137,790	
	第162回利付国債(20年)	56,000,000	58,103,920	
	第164回利付国債(20年)	156,000,000	159,003,000	
	第167回利付国債(20年)	89,000,000	90,255,790	
	第168回利付国債(20年)	59,000,000	58,702,640	
	第169回利付国債(20年)	44,000,000	42,918,040	
	第170回利付国債(20年)	70,000,000	68,140,100	
	第173回利付国債(20年)	100,000,000	98,671,000	
	第174回利付国債(20年)	240,000,000	236,560,800	
特殊債券	第225回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	101,899,000	
	第9回公営企業債券(20年)	100,000,000	108,285,000	
	第16回公営企業債券(20年)	100,000,000	109,982,000	
	第21回地方公共団体金融機構債券	300,000,000	300,121,320	
	第42回地方公共団体金融機構債券	100,000,000	101,401,000	
	第17回首都高速道路株式会社社債	100,000,000	100,008,270	
	第19回首都高速道路株式会社社債	100,000,000	100,045,712	
	第2回貸付債権担保T種住宅金融支援機構債券	60,895,000	60,841,412	
	第3回貸付債権担保T種住宅金融支援機構債券	65,036,000	65,021,041	
	第6回貸付債権担保T種住宅金融支援機構債券	84,283,000	83,926,482	
	第8回貸付債権担保T種住宅金融支援機構債券	96,533,000	96,376,616	
	第50回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	27,782,000	29,354,739	
	第81回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	44,347,000	46,212,234	
	第89回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	51,047,000	52,945,437	
	第102回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	68,052,000	70,373,253	
	第39回東日本高速道路株式会社社債	100,000,000	100,011,872	
社債券	第21回味の素株式会社無担保社債	100,000,000	100,234,000	
	第6回花王株式会社無担保社債	100,000,000	100,024,000	
	第1回日本製鉄株式会社無担保社債	100,000,000	99,745,000	

第35回株式会社豊田自動織機無担保社債	100,000,000	99,806,000	
第15回パナソニック株式会社無担保社債	100,000,000	100,042,253	
第48回株式会社日産フィナンシャルサービス無担保社債	100,000,000	99,986,866	
第63回三菱UFJリース株式会社無担保社債	100,000,000	100,199,000	
第8回電源開発株式会社無担保社債	100,000,000	107,543,000	
合計	10,509,975,000	10,781,986,947	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

外国株式マザーファンド

有価証券明細表

a. 株式

(2021年2月15日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
USドル	AMAZON.COM INC	456	3,277.71	1,494,635.76	
	ABBOTT LABORATORIES	2,661	128.23	341,220.03	
	AES CORP	760	28.53	21,682.80	
	INTL BUSINESS MACHINES CORP	239	120.80	28,871.20	
	ADVANCED MICRO DEVICES	2,568	93.77	240,801.36	
	ADOBE INC	602	498.84	300,301.68	
	ALLSTATE CORP	237	104.43	24,749.91	
	HONEYWELL INTERNATIONAL INC	1,173	203.57	238,787.61	
	AMGEN INC	672	237.21	159,405.12	
	AMERICAN EXPRESS CO	950	129.62	123,139.00	
	AMERICAN ELECTRIC POWER	799	78.61	62,809.39	
	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	702	41.40	29,062.80	
	ANALOG DEVICES INC	650	160.78	104,507.00	
	COMCAST CORP-CL A	5,216	53.23	277,647.68	
	APPLE INC	18,524	135.37	2,507,593.88	
	APPLIED MATERIALS INC	1,720	116.70	200,724.00	
	ALBEMARLE CORP	349	164.64	57,459.36	
	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	795	55.72	44,297.40	
	AUTODESK INC	357	305.14	108,934.98	
	AUTOMATIC DATA PROCESSING	147	167.03	24,553.41	
	AUTOZONE INC	33	1,146.65	37,839.45	
	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	1,315	242.46	318,834.90	
	BAXTER INTERNATIONAL INC	239	78.73	18,816.47	
	BECTON DICKINSON AND CO	90	256.32	23,068.80	
	VERIZON COMMUNICATIONS INC	3,863	54.20	209,374.60	
	BEST BUY CO INC	148	120.51	17,835.48	
	YUM! BRANDS INC	331	105.47	34,910.57	
BOEING CO	446	210.98	94,097.08		
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	150	199.86	29,979.00		

BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	2,802	59.99	168,091.98
UNITED RENTALS INC	384	286.22	109,908.48
SEMPRA ENERGY	365	124.50	45,442.50
FEDEX CORP	355	263.00	93,365.00
AMPHENOL CORP-CL A	200	135.90	27,180.00
CSX CORP	828	90.14	74,635.92
CONSTELLATION BRANDS INC-A	59	241.27	14,234.93
CARDINAL HEALTH INC	745	51.86	38,635.70
CATERPILLAR INC	1,176	197.99	232,836.24
CHECK POINT SOFTWARE TECH	200	120.72	24,144.00
JPMORGAN CHASE & CO	4,413	141.25	623,336.25
CHURCH & DWIGHT CO INC	140	82.94	11,611.60
CISCO SYSTEMS INC	3,547	47.29	167,737.63
CLOROX COMPANY	93	185.97	17,295.21
COCA-COLA CO/THE	4,635	50.69	234,948.15
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,411	78.43	110,664.73
MARRIOTT INTERNATIONAL-CL A	331	129.48	42,857.88
CUMMINS INC	100	243.97	24,397.00
DR HORTON INC	286	82.18	23,503.48
DANAHER CORP	1,033	245.90	254,014.70
MOODY'S CORP	344	278.67	95,862.48
TARGET CORP	972	191.43	186,069.96
DEERE & CO	747	313.00	233,811.00
MORGAN STANLEY	2,920	74.61	217,861.20
REPUBLIC SERVICES INC	376	91.26	34,313.76
COSTAR GROUP INC	15	939.76	14,096.40
WALT DISNEY CO/THE	2,589	187.67	485,877.63
DARDEN RESTAURANTS INC	158	128.45	20,295.10
BANK OF AMERICA CORP	12,535	33.37	418,292.95
CITIGROUP INC	2,075	63.63	132,032.25
SALESFORCE.COM INC	999	240.37	240,129.63
EMERSON ELECTRIC CO	590	85.33	50,344.70
EQUIFAX INC	115	177.19	20,376.85
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	582	290.25	168,925.50
EXXON MOBIL CORP	3,694	50.52	186,620.88
NEXTERA ENERGY INC	4,096	83.13	340,500.48
ASSURANT INC	168	128.13	21,525.84
FISERV INC	504	109.99	55,434.96
FREEMPORT-MCMORAN INC	4,575	31.23	142,877.25
GENERAL MILLS INC	340	57.12	19,420.80
GILEAD SCIENCES INC	1,025	66.89	68,562.25
GARTNER INC	145	182.93	26,524.85
NVIDIA CORP	815	598.45	487,736.75
GENERAL ELECTRIC CO	10,175	11.73	119,352.75
GOLDMAN SACHS GROUP INC	554	306.32	169,701.28
HOME DEPOT INC	1,292	277.51	358,542.92
HUMANA INC	199	380.64	75,747.36
BIOGEN INC	88	278.03	24,466.64

ILLINOIS TOOL WORKS	319	200.98	64,112.62
INTUIT INC	355	413.99	146,966.45
IDEXX LABORATORIES INC	137	544.08	74,538.96
INTEL CORP	3,097	61.81	191,425.57
JOHNSON & JOHNSON	3,289	166.58	547,881.62
KLA CORPORATION	251	331.81	83,284.31
KIMBERLY-CLARK CORP	337	132.13	44,527.81
BLACKROCK INC	186	722.98	134,474.28
LAM RESEARCH CORP	302	586.16	177,020.32
PACKAGING CORP OF AMERICA	77	133.18	10,254.86
LENNAR CORP-CL A	300	92.58	27,774.00
ELI LILLY & CO	1,127	207.29	233,615.83
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	848	163.39	138,554.72
AGILENT TECHNOLOGIES INC	890	127.98	113,902.20
LOCKHEED MARTIN CORP	217	337.73	73,287.41
LOWE'S COS INC	1,133	177.16	200,722.28
DOMINION ENERGY INC	428	71.87	30,760.36
MCDONALD'S CORP	931	213.90	199,140.90
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	929	87.65	81,426.85
MARSH & MCLENNAN COS	1,303	112.80	146,978.40
MASCO CORP	260	54.95	14,287.00
MARTIN MARIETTA MATERIALS	308	330.83	101,895.64
METLIFE INC	841	55.67	46,818.47
ACTIVISION BLIZZARD INC	1,394	103.81	144,711.14
CVS HEALTH CORPORATION	2,310	74.21	171,425.10
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS	58	238.26	13,819.08
MICROSOFT CORP	7,736	244.99	1,895,242.64
MICRON TECHNOLOGY INC	1,483	88.01	130,518.83
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	1,248	53.82	67,167.36
3M CO	663	178.70	118,478.10
ILLUMINA INC	110	504.76	55,523.60
XCEL ENERGY INC	684	61.54	42,093.36
FORD MOTOR CO	2,922	11.45	33,456.90
NEWMONT CORP	1,585	58.94	93,419.90
NIKE INC -CL B	2,301	142.12	327,018.12
NORFOLK SOUTHERN CORP	343	254.84	87,410.12
NORTHERN TRUST CORP	235	98.14	23,062.90
WELLS FARGO & CO	1,750	33.53	58,677.50
NUCOR CORP	1,149	56.34	64,734.66
CHENIERE ENERGY INC	620	67.62	41,924.40
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	624	117.75	73,476.00
ORACLE CORP	2,234	63.08	140,920.72
PARKER HANNIFIN CORP	195	276.24	53,866.80
ALIGN TECHNOLOGY INC	108	609.58	65,834.64
PEPSICO INC	1,818	133.87	243,375.66
PFIZER INC	6,404	34.72	222,346.88
CONOCOPHILLIPS	1,701	47.16	80,219.16
ALTRIA GROUP INC	1,320	43.40	57,288.00

PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	910	162.27	147,665.70
PPG INDUSTRIES INC	414	138.55	57,359.70
COSTCO WHOLESALE CORP	622	352.75	219,410.50
PROCTER & GAMBLE CO/THE	3,271	127.62	417,445.02
PROGRESSIVE CORP	830	86.27	71,604.10
GLOBAL PAYMENTS INC	285	197.18	56,196.30
QUALCOMM INC	1,548	147.98	229,073.04
REGENERON PHARMACEUTICALS	86	485.62	41,763.32
RESMED INC	291	200.55	58,360.05
US BANCORP	1,770	47.64	84,322.80
ROCKWELL AUTOMATION INC	206	249.18	51,331.08
TRAVELERS COS INC/THE	302	145.96	44,079.92
FIDELITY NATIONAL INFORMATIO	355	135.60	48,138.00
MERCK & CO. INC.	2,890	75.00	216,750.00
SCHLUMBERGER LTD	1,160	26.77	31,053.20
SCHWAB (CHARLES) CORP	768	58.19	44,689.92
POOL CORP	72	337.84	24,324.48
BUNGE LTD	597	78.00	46,566.00
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	109	721.05	78,594.45
SVB FINANCIAL GROUP	225	506.50	113,962.50
SOUTHERN CO	658	60.10	39,545.80
AT&T INC	4,762	28.80	137,145.60
CHEVRON CORP	2,562	92.55	237,113.10
STATE STREET CORP	750	73.50	55,125.00
STARBUCKS CORP	1,743	105.30	183,537.90
STRYKER CORP	425	248.15	105,463.75
NETFLIX INC	451	556.52	250,990.52
SYNOPSIS INC	488	292.09	142,539.92
SYSCO CORP	492	76.24	37,510.08
INTUITIVE SURGICAL INC	159	807.81	128,441.79
TEXAS INSTRUMENTS INC	1,125	179.64	202,095.00
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	687	507.83	348,879.21
DAVITA INC	411	104.99	43,150.89
UNION PACIFIC CORP	1,035	213.16	220,620.60
UNITEDHEALTH GROUP INC	1,402	328.24	460,192.48
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	399	213.98	85,378.02
WALMART INC	1,893	144.47	273,481.71
WASTE MANAGEMENT INC	586	113.25	66,364.50
SKYWORKS SOLUTIONS INC	265	189.50	50,217.50
WYNN RESORTS LTD	115	117.85	13,552.75
NASDAQ, INC.	600	141.99	85,194.00
CARMAX INC	231	125.10	28,898.10
XILINX INC	316	145.75	46,057.00
TJX COMPANIES INC	2,044	68.00	138,992.00
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	115	477.74	54,940.10
LAS VEGAS SANDS CORP	351	56.02	19,663.02
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	62	1,527.70	94,717.40
TRANSDIGM GROUP INC	29	576.49	16,718.21

MASTERCARD INC-CLASS A	1,208	341.00	411,928.00
LULULEMON ATHLETICA INC	355	342.86	121,715.30
MERCADOLIBRE INC	51	1,943.00	99,093.00
MSCI INC	370	434.77	160,864.90
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	1,597	86.12	137,533.64
VISA INC-CLASS A SHARES	2,219	209.96	465,901.24
AMERICAN WATER WORKS CO INC	789	161.69	127,573.41
CHUBB LTD	298	164.16	48,919.68
FORTUNE BRANDS HOME & SECURI	551	89.84	49,501.84
MOSAIC CO/THE	1,690	29.27	49,466.30
KINDER MORGAN INC	1,553	14.84	23,046.52
STANLEY BLACK & DECKER INC	263	175.57	46,174.91
ACCENTURE PLC-CL A	830	257.47	213,700.10
HCA HEALTHCARE INC	391	173.51	67,842.41
VERISK ANALYTICS INC	276	189.50	52,302.00
FIRST REPUBLIC BANK/CA	217	155.39	33,719.63
NXP SEMICONDUCTORS NV	108	194.39	20,994.12
DOLLAR GENERAL CORP	249	198.60	49,451.40
MOTOROLA SOLUTIONS INC	160	181.07	28,971.20
TESLA, INC	885	816.12	722,266.20
GENERAC HOLDINGS INC	60	326.84	19,610.40
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	40	433.05	17,322.00
GENERAL MOTORS CO	2,696	53.60	144,505.60
CBRE GROUP INC	470	71.33	33,525.10
ALLY FINANCIAL INC	755	42.01	31,717.55
APTIV PLC	630	156.29	98,462.70
FACEBOOK INC-A	2,583	270.50	698,701.50
DUKE ENERGY CORP	650	89.82	58,383.00
SERVICENOW INC	331	591.29	195,716.99
PALO ALTO NETWORKS INC	154	395.12	60,848.48
MONDELEZ INTERNATIONAL INC	1,427	55.19	78,756.13
WORKDAY INC-CLASS A	151	281.36	42,485.36
EATON CORP PLC	486	123.98	60,254.28
ABBVIE INC	2,649	104.44	276,661.56
T-MOBILE US INC	700	123.68	86,576.00
ZOETIS INC	921	166.71	153,539.91
IHS MARKIT LTD	1,170	93.59	109,500.30
TWILIO INC - A	140	435.29	60,940.60
SNAP INC - A	1,077	61.97	66,741.69
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	51	864.00	44,064.00
OKTA INC	188	291.78	54,854.64
IQVIA HOLDINGS INC	259	192.66	49,898.94
BOOKING HOLDINGS INC	52	2,150.58	111,830.16
BROADCOM INC	475	486.32	231,002.00
RINGCENTRAL INC-CLASS A	64	443.29	28,370.56
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	121	318.03	38,481.63
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	1,589	111.07	176,490.23
DOCUSIGN INC	318	263.30	83,729.40

	ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A	197	433.11	85,322.67
	MODERNA INC	170	183.74	31,235.80
	CIGNA CORP	352	206.93	72,839.36
	DOW INC	1,234	58.15	71,757.10
	PINTEREST INC- CLASS A	1,059	84.04	88,998.36
	PELOTON INTERACTIVE INC-A	110	154.67	17,013.70
	CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	252	242.10	61,009.20
	CHEWY INC - CLASS A	190	118.69	22,551.10
	DUPONT DE NEMOURS INC	742	71.47	53,030.74
	CARRIER GLOBAL CORP	2,848	37.28	106,173.44
	OTIS WORLDWIDE CORP	812	63.93	51,911.16
	UBER TECHNOLOGIES INC	782	60.63	47,412.66
	CORTEVA INC	975	44.37	43,260.75
	MATCH GROUP INC	395	169.53	66,964.35
	L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	256	185.92	47,595.52
	TRANE TECHNOLOGIES PLC	987	150.93	148,967.91
	BLACKSTONE GROUP INC/THE	365	70.21	25,626.65
	TRUIST FINANCIAL CORP	1,310	54.01	70,753.10
	INGERSOLL-RAND INC	440	43.92	19,324.80
	AON PLC	147	228.04	33,521.88
	ROYALTY PHARMA PLC- CL A	497	47.98	23,846.06
	ARISTA NETWORKS INC	102	323.31	32,977.62
	KEYSIGHT TECHNOLOGIES IN	789	153.48	121,095.72
	QORVO INC	430	176.00	75,680.00
	ANTHEM INC	335	290.68	97,377.80
	MEDTRONIC PLC	1,801	119.74	215,651.74
	WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	540	50.38	27,205.20
	ETSY INC	124	233.86	28,998.64
	JOHNSON CONTROLS INTERNATION	1,435	53.58	76,887.30
	SQUARE INC - A	892	272.75	243,293.00
	CARVANA CO	81	296.05	23,980.05
	TELADOC HEALTH INC	128	293.66	37,588.48
	FORTIVE CORP	486	71.52	34,758.72
	S&P GLOBAL INC	503	339.45	170,743.35
	ALPHABET INC-CL A	361	2,095.03	756,305.83
	PAYPAL HOLDINGS INC	1,613	298.37	481,270.81
	HP INC	1,420	27.49	39,035.80
	ZILLOW GROUP INC - C	284	197.81	56,178.04
	ALPHABET INC-CL C	365	2,104.11	768,000.15
	MONSTER BEVERAGE CORP	465	91.73	42,654.45
	LINDE PLC	718	252.68	181,424.24
	ROKU INC	185	468.67	86,703.95
	CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	181	613.45	111,034.45
	小計	283,334		37,710,863.14
	(邦貨換算)			(3,964,165,933)
カナダドル	BARRICK GOLD CORP	4,050	28.12	113,886.00
	BANK OF MONTREAL	854	97.60	83,350.40
	NATIONAL BANK OF CANADA	1,400	72.67	101,738.00

	BROOKFIELD ASSET MANAGE-CL A	3,075	54.49	167,556.75
	CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE	318	113.43	36,070.74
	CANADIAN NATURAL RESOURCES	2,400	34.15	81,960.00
	CANADIAN NATL RAILWAY CO	914	140.49	128,407.86
	FORTIS INC	710	51.50	36,565.00
	ENBRIDGE INC	2,710	44.01	119,267.10
	ROYAL BANK OF CANADA	1,940	106.20	206,028.00
	CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	252	463.69	116,849.88
	TORONTO-DOMINION BANK	1,754	75.42	132,286.68
	FRANCO-NEVADA CORP	330	153.77	50,744.10
	PEMBINA PIPELINE CORP	460	35.22	16,201.20
	NUTRIEN LTD	350	71.10	24,885.00
	TC ENERGY CORP	1,224	56.59	69,266.16
	SHOPIFY INC - CLASS A	188	1,847.20	347,273.60
	小計	22,929		1,832,336.47
	(邦貨換算)			(151,790,753)
オーストラリア ドル	AUST AND NZ BANKING GROUP	3,126	24.82	77,587.32
	WESTPAC BANKING CORP	2,694	22.14	59,645.16
	FORTESCUE METALS GROUP LTD	6,279	23.83	149,628.57
	BHP GROUP LTD	6,349	44.72	283,927.28
	CSL LIMITED	602	276.76	166,609.52
	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	2,816	86.87	244,625.92
	RIO TINTO LTD	1,845	117.35	216,510.75
	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	3,114	24.93	77,632.02
	NEWCREST MINING LIMITED	1,665	25.96	43,223.40
	WOODSIDE PETROLEUM LTD	1,468	24.98	36,670.64
	WOOLWORTHS GROUP LTD	1,577	41.10	64,814.70
	小計	31,535		1,420,875.28
	(邦貨換算)			(115,943,422)
イギリスポンド	ASHTREAD GROUP PLC	2,458	39.18	96,304.44
	DIAGEO PLC	1,298	30.09	39,056.82
	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	1,836	27.14	49,838.22
	LEGAL & GENERAL GROUP PLC	7,836	2.59	20,365.76
	PRUDENTIAL PLC	3,032	13.28	40,264.96
	RIO TINTO PLC	1,715	59.34	101,768.10
	BP PLC	14,385	2.61	37,659.93
	LLOYDS BANKING GROUP PLC	55,700	0.37	20,664.70
	TAYLOR WIMPEY PLC	13,100	1.61	21,110.65
	TESCO PLC	10,775	2.40	25,924.65
	GLAXOSMITHKLINE PLC	3,434	12.78	43,886.52
	ASTRAZENECA PLC	1,644	74.71	122,823.24
	BARCLAYS PLC	39,590	1.45	57,761.81
	KINGFISHER PLC	5,900	2.70	15,983.10
	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	7,222	13.58	98,089.20
	RENTOKIL INITIAL PLC	2,327	5.25	12,221.40
	LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	766	98.00	75,068.00
	UNILEVER PLC	1,166	39.61	46,185.26
	SEVERN TRENT PLC	541	23.48	12,702.68

	SMITHS GROUP PLC	1,320	14.97	19,760.40	
	ANGLO AMERICAN PLC	1,748	26.63	46,549.24	
	3I GROUP PLC	1,100	11.47	12,617.00	
	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	526	63.06	33,169.56	
	NATIONAL GRID PLC	4,636	8.56	39,702.70	
	BHP GROUP PLC	2,550	21.17	53,996.25	
	VODAFONE GROUP PLC	22,450	1.33	30,065.04	
	INTERCONTINENTAL HOTELS GROU	445	48.95	21,782.75	
	FERGUSON PLC	836	89.20	74,571.20	
	小計	210,336		1,269,893.58	
	(邦貨換算)			(185,213,978)	
スイスフラン	ZURICH INSURANCE GROUP AG	297	372.70	110,691.90	
	NOVARTIS AG-REG	2,371	82.00	194,422.00	
	ABB LTD-REG	3,045	26.20	79,779.00	
	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	875	313.20	274,050.00	
	LAFARGEHOLCIM LTD	1,367	49.95	68,281.65	
	NESTLE SA-REG	3,639	100.72	366,520.08	
	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	3,335	12.32	41,103.87	
	LONZA GROUP AG-REG	69	610.00	42,090.00	
	PARTNERS GROUP HOLDING AG	34	1,117.50	37,995.00	
	GEBERIT AG-REG	68	557.40	37,903.20	
	JULIUS BAER GROUP LTD	559	54.60	30,521.40	
	SWISS RE AG	177	83.90	14,850.30	
	CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	354	87.78	31,074.12	
	SIKA AG-REG	470	254.60	119,662.00	
	UBS GROUP AG	6,383	13.70	87,447.10	
	小計	23,043		1,536,391.62	
	(邦貨換算)			(181,063,752)	
ホンコンドル	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	2,400	535.00	1,284,000.00	
	MTR CORP	3,000	44.90	134,700.00	
	GALAXY ENTERTAINMENT GROUP L	2,000	68.95	137,900.00	
	SUN HUNG KAI PROPERTIES	4,500	108.80	489,600.00	
	TECHTRONIC INDUSTRIES CO	1,000	123.90	123,900.00	
	AIA GROUP LTD	19,000	103.50	1,966,500.00	
	CK HUTCHISON HOLDINGS LTD	552	53.50	29,532.00	
	CK ASSET HOLDINGS LTD	552	39.95	22,052.40	
	小計	33,004		4,188,184.40	
	(邦貨換算)			(56,791,780)	
シンガポールドル	DBS GROUP HOLDINGS LTD	5,100	26.07	132,957.00	
	SINGAPORE EXCHANGE LTD	5,400	9.95	53,730.00	
	OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	4,100	10.55	43,255.00	
	小計	14,600		229,942.00	
	(邦貨換算)			(18,248,197)	
スウェーデンクローナ	HENNES & MAURITZ AB-B SHS	948	179.85	170,497.80	
	ERICSSON LM-B SHS	6,157	113.60	699,435.20	
	TELIA CO AB	6,313	35.33	223,038.29	
	ELECTROLUX AB-SER B	715	211.30	151,079.50	
	VOLVO AB-B SHS	5,599	210.20	1,176,909.80	

	HEXAGON AB-B SHS	744	734.20	546,244.80
	ATLAS COPCO AB-A SHS	1,455	492.20	716,151.00
	ASSA ABLOY AB-B	1,900	225.40	428,260.00
	小計 (邦貨換算)	23,831		4,111,616.39 (52,053,063)
デンマーク クローネ	CARLSBERG AS-B	181	961.00	173,941.00
	A P MOLLER - MAERSK A/S - B	32	12,670.00	405,440.00
	VESTAS WIND SYSTEMS A/S	372	1,301.00	483,972.00
	DSV PANALPINA A/S	746	1,121.00	836,266.00
	NOVO NORDISK A/S-B	2,240	460.00	1,030,400.00
	ORSTED A/S	391	1,042.00	407,422.00
	小計 (邦貨換算)	3,962		3,337,441.00 (57,170,364)
ユーロ	BOUYGUES SA	784	33.55	26,303.20
	AIRBUS SE	507	92.21	46,750.47
	ADIDAS AG	205	291.90	59,839.50
	L'OREAL	475	318.30	151,192.50
	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	468	529.30	247,712.40
	INTESA SANPAOLO	15,050	2.09	31,544.80
	CAPGEMINI SA	210	135.30	28,413.00
	KBC GROEP NV	809	59.22	47,908.98
	HANNOVER RUECK SE	71	142.00	10,082.00
	MICHELIN (CGDE)-B	323	116.70	37,694.10
	DEUTSCHE POST AG-REG	1,623	43.03	69,837.69
	PERNOD-RICARD SA	189	159.30	30,107.70
	RWE AG	1,422	33.97	48,305.34
	SCHNEIDER ELECTRIC SE	632	129.00	81,528.00
	VIVENDI	2,831	26.10	73,889.10
	SAP SE	999	108.56	108,451.44
	PUMA AG	377	85.46	32,218.42
	BAYER AG	530	53.95	28,593.50
	BASF SE	783	66.82	52,320.06
	ALLIANZ SE-REG	530	195.54	103,636.20
	HERMES INTERNATIONAL	81	924.40	74,876.40
	MUENCHENER RUECKVER AG-REG	136	233.60	31,769.60
	VOLKSWAGEN AG-PFD	261	161.20	42,073.20
	KERING	65	547.90	35,613.50
	DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	1,287	64.66	83,217.42
	SANOFI	1,020	78.16	79,723.20
	BANCO SANTANDER SA	19,419	2.79	54,276.10
	SIEMENS AG-REG	1,322	134.02	177,174.44
	BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	453	70.25	31,823.25
	DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	5,006	14.84	74,314.07
	INFINEON TECHNOLOGIES AG	3,015	35.56	107,213.40
	STMICROELECTRONICS NV	1,404	35.30	49,561.20
	KONINKLIJKE PHILIPS NV	1,742	47.96	83,546.32
	DEUTSCHE BOERSE AG	299	136.60	40,843.40
	AXA SA	2,642	19.11	50,504.47

GROUPE BRUXELLES LAMBERT SA	117	84.94	9,937.98
ENEL SPA	11,511	8.46	97,475.14
ENI SPA	3,000	8.87	26,637.00
BNP PARIBAS	1,719	46.48	79,899.12
SAFRAN SA	696	108.90	75,794.40
NESTE OYJ	1,805	57.22	103,282.10
HEINEKEN HOLDING NV	306	74.35	22,751.10
KONINKLIJKE DSM NV	257	145.35	37,354.95
TOTAL SE	2,758	34.97	96,461.05
VINCI SA	542	85.66	46,427.72
AIR LIQUIDE SA	595	134.90	80,265.50
IBERDROLA SA	12,517	10.80	135,246.18
COMMERZBANK AG	6,035	5.12	30,899.20
ASML HOLDING NV	635	494.75	314,166.25
VONOVIA SE	1,150	55.20	63,480.00
KONINKLIJKE AHOLD DELHAIZE N	990	23.51	23,274.90
FERRARI NV	642	168.75	108,337.50
NORDEA BANK ABP	1,153	7.11	8,202.44
AKZO NOBEL	484	85.22	41,246.48
PROSUS NV	414	105.30	43,594.20
UNILEVER PLC	1,562	45.24	70,672.69
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	1,347	9.78	13,173.66
SIEMENS ENERGY AG	661	31.31	20,695.91
ZALANDO SE	147	99.86	14,679.42
COVESTRO AG	271	58.58	15,875.18
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV	578	52.60	30,402.80
ADYEN NV	27	2,190.00	59,130.00
ING GROEP NV-CVA	5,183	8.34	43,272.86
DELIVERY HERO SE	409	131.70	53,865.30
小計 （邦貨換算）	124,481		4,099,359.40 (522,422,361)
合計 （邦貨換算）	771,055		(5,304,863,603)

b. 株式以外の有価証券

（2021年2月15日現在）

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
USドル	投資証券	AVALONBAY COMMUNITIES INC	120	21,541.20	
		SIMON PROPERTY GROUP INC	402	43,922.52	
		PUBLIC STORAGE	75	17,389.50	
		PROLOGIS INC	899	96,795.33	
		AMERICAN TOWER CORP	572	129,952.68	
		CROWN CASTLE INTL CORP	433	71,211.18	
		EQUINIX INC	111	78,788.91	
		WELLTOWER INC	430	29,029.30	
		SBA COMMUNICATIONS CORP	91	24,018.54	
		小計	3,133	512,649.16	

		(邦貨換算)		(53,889,679)
オーストラリアドル	投資証券	DEXUS	2,780	24,241.60
		GOODMAN GROUP	7,821	140,465.16
		小計	10,601	164,706.76
		(邦貨換算)		(13,440,071)
イギリスポンド	投資証券	SEGRO PLC	3,120	30,201.60
		(邦貨換算)		(4,404,903)
ホンコンドル	投資証券	LINK REIT	2,000	134,600.00
		(邦貨換算)		(1,825,176)
シンガポールドル	投資証券	ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	7,800	23,946.00
		(邦貨換算)		(1,900,354)
		合計	26,654	
		(邦貨換算)		(75,460,183)

(注) 投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

有価証券明細表注記

通貨	銘柄数	組入時価比率	合計金額に対する比率
USドル	株式 264 銘柄	73.02%	73.68%
	投資証券 9 銘柄	0.99%	1.00%
カナダドル	株式 17 銘柄	2.80%	2.82%
オーストラリアドル	株式 11 銘柄	2.14%	2.15%
	投資証券 2 銘柄	0.25%	0.25%
イギリスポンド	株式 28 銘柄	3.41%	3.44%
	投資証券 1 銘柄	0.08%	0.08%
スイスフラン	株式 15 銘柄	3.34%	3.37%
ホンコンドル	株式 8 銘柄	1.05%	1.06%
	投資証券 1 銘柄	0.03%	0.03%
シンガポールドル	株式 3 銘柄	0.34%	0.34%
	投資証券 1 銘柄	0.04%	0.04%
スウェーデンクローナ	株式 8 銘柄	0.96%	0.97%
デンマーククローネ	株式 6 銘柄	1.05%	1.06%
ユーロ	株式 64 銘柄	9.62%	9.71%

(注) 「組入時価比率」については、組入時価の純資産総額に対する割合を示すものです。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

外国債券マザーファンド

有価証券明細表

a. 株式

該当事項はありません。

b. 株式以外の有価証券

（2021年2月15日現在）

通貨	種類	銘柄	額面総額	評価額	クーポン	償還日	備考
USドル	国債証券	US TREASURY N/B	700,000	714,519.53	1.75	2022.5.15	
		US TREASURY N/B	2,000,000	2,075,156.24	2.00	2023.2.15	
		US TREASURY N/B	2,710,000	2,910,285.92	2.38	2024.8.15	
		US TREASURY N/B	1,440,000	1,512,224.99	1.50	2026.8.15	
		US TREASURY N/B	1,280,000	1,342,699.99	1.63	2029.8.15	
		US TREASURY N/B	500,000	739,375.00	4.63	2040.2.15	
		US TREASURY N/B	1,190,000	1,439,342.18	3.00	2042.5.15	
		US TREASURY N/B	260,000	324,715.62	3.13	2048.5.15	
		小計 (邦貨換算)	10,080,000	11,058,319.47 (1,162,450,542)			
カナダドル	国債証券	CANADA-GOV'T	890,000	957,693.40	2.25	2025.6.1	
		CANADA-GOV'T	100,000	145,205.00	8.00	2027.6.1	
		小計 (邦貨換算)	990,000	1,102,898.40 (91,364,103)			
オーストラリアドル	国債証券	AUSTRALIAN GOVT.	220,000	275,088.50	4.75	2027.4.21	
		AUSTRALIAN GOVT.	210,000	244,713.00	3.00	2047.3.21	
		小計 (邦貨換算)	430,000	519,801.50 (42,415,802)			
イギリス ポンド	国債証券	UK TSY GILT	210,000	300,867.00	6.00	2028.12.7	
		UK TSY GILT	490,000	821,516.36	4.50	2042.12.7	
		UK TSY GILT	30,000	58,398.73	4.00	2060.1.22	
		小計 (邦貨換算)	730,000	1,180,782.09 (172,217,067)			
シンガポール ドル	国債証券	SINGAPORE GOV'T	40,000	43,634.68	3.00	2024.9.1	
		SINGAPORE GOV'T	100,000	115,500.62	2.88	2029.7.1	
		小計 (邦貨換算)	140,000	159,135.30 (12,628,977)			
スウェーデン クローナ	国債証券	SWEDISH GOVRNMNT (邦貨換算)	500,000	559,053.00 (7,077,610)	2.50	2025.5.12	
ノルウェー クローネ	国債証券	NORWEGIAN GOV'T (邦貨換算)	5,700,000	5,902,566.60 (73,427,928)	2.00	2023.5.24	
メキシコペソ	国債証券	MEXICAN BONOS	1,200,000	1,236,836.52	6.50	2022.6.9	
		MEXICAN BONOS	1,800,000	2,205,360.00	8.50	2038.11.18	
		小計 (邦貨換算)	3,000,000	3,442,196.52 (18,140,375)			

イスラエル シュケル	国債証券	ISRAEL FIXED 0.75% (邦貨換算)	250,000	253,625.00 (8,194,623)	0.00	2022.7.31	
ズロチ	国債証券	POLAND GOVT BOND (邦貨換算)	600,000	597,600.00 (16,930,008)	1.25	2030.10.25	
ユーロ	国債証券	DEUTSCHLAND REP	780,000	819,062.40	0.50	2025.2.15	
		DEUTSCHLAND REP	165,000	219,314.70	1.25	2048.8.15	
		BTPS	420,000	517,188.00	4.50	2026.3.1	
		BTPS	180,000	256,284.00	6.50	2027.11.1	
		BTPS	160,000	213,968.00	4.75	2028.9.1	
		BTPS	210,000	325,185.00	6.00	2031.5.1	
		BTPS	410,000	691,096.00	5.00	2040.9.1	
		FRANCE O.A.T.	90,000	108,259.38	8.50	2023.4.25	
		FRANCE O.A.T.	190,000	199,063.00	0.50	2025.5.25	
		FRANCE O.A.T.	610,000	662,704.00	0.75	2028.5.25	
		FRANCE O.A.T.	310,000	364,116.08	1.50	2031.5.25	
		FRANCE O.A.T.	40,000	73,308.80	4.50	2041.4.25	
		FRANCE O.A.T.	450,000	746,725.50	3.25	2045.5.25	
		NETHERLANDS GOVT	290,000	413,656.00	5.50	2028.1.15	
		SPANISH GOV'T	650,000	726,033.23	5.40	2023.1.31	
		SPANISH GOV'T	190,000	210,386.81	1.45	2027.10.31	
		SPANISH GOV'T	140,000	237,914.60	3.45	2066.7.30	
		BELGIAN 0325	360,000	389,030.90	4.25	2022.9.28	
		BELGIAN 0324	90,000	113,703.66	4.50	2026.3.28	
		BELGIAN 0341	370,000	400,448.78	0.80	2027.6.22	
		BELGIAN 0333	120,000	168,008.04	3.00	2034.6.22	
		REP OF AUSTRIA	160,000	163,866.08	3.50	2021.9.15	
		REP OF AUSTRIA	90,000	151,185.91	3.15	2044.6.20	
		FINNISH GOV'T	150,000	158,652.00	0.50	2026.4.15	
		IRISH GOVT	210,000	261,757.65	2.40	2030.5.15	
		小計 (邦貨換算)	6,835,000	8,590,918.52 (1,094,826,656)			
		合計 (邦貨換算)		(2,699,673,691)			

有価証券明細表注記

通貨	銘柄数	組入時価比率	合計金額に対する比率
USドル	国債証券 8 銘柄	42.55%	43.07%
カナダドル	国債証券 2 銘柄	3.34%	3.38%
オーストラリアドル	国債証券 2 銘柄	1.55%	1.57%
イギリスポンド	国債証券 3 銘柄	6.30%	6.38%
シンガポールドル	国債証券 2 銘柄	0.46%	0.47%
スウェーデンクローナ	国債証券 1 銘柄	0.26%	0.26%
ノルウェークローネ	国債証券 1 銘柄	2.69%	2.72%
メキシコペソ	国債証券 2 銘柄	0.66%	0.67%
イスラエルシェケル	国債証券 1 銘柄	0.30%	0.30%
ズロチ	国債証券 1 銘柄	0.62%	0.63%
ユーロ	国債証券 25 銘柄	40.08%	40.55%

（注）「組入時価比率」については、組入時価の純資産総額に対する割合を示すものです。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【中間財務諸表】

- 1．当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）（以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しており、金額は円単位で表示しております。
- 2．当ファンドは、第22期中間計算期間（2021年2月16日から2021年8月15日まで）の中間財務諸表について、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

中間財務諸表

【青のライフキャンパス・ファンド（標準型）】

（1）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第21期 (2021年2月15日現在)	第22期中間計算期間 (2021年8月15日現在)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	316,860
コール・ローン	237,845,957	53,577,250
親投資信託受益証券	1,430,781,241	1,643,033,386
流動資産合計	1,668,627,198	1,696,927,496
資産合計		
1,668,627,198		
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	172,799,255	-
未払受託者報酬	687,837	720,279
未払委託者報酬	9,629,573	10,083,851
未払利息	337	285
その他未払費用	137,506	143,993
流動負債合計	183,254,508	10,948,408
負債合計		
183,254,508		
純資産の部		
元本等		
元本	1,476,916,715	1,636,298,173
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	8,455,975	49,680,915
（分配準備積立金）	15,267,270	15,217,682
元本等合計	1,485,372,690	1,685,979,088
純資産合計		
1,485,372,690		
負債純資産合計		
1,668,627,198		

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第21期中間計算期間 (自 2020年2月18日 至 2020年8月17日)	第22期中間計算期間 (自 2021年2月16日 至 2021年8月15日)
営業収益		
受取利息	-	79
有価証券売買等損益	58,366,095	51,252,145
営業収益合計	58,366,095	51,252,224
営業費用		
支払利息	17,033	12,642
受託者報酬	624,900	720,279
委託者報酬	8,748,565	10,083,851
その他費用	124,955	143,993
営業費用合計	9,515,453	10,960,765
営業利益	48,850,642	40,291,459
経常利益	48,850,642	40,291,459
中間純利益	48,850,642	40,291,459
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	632,230	58,782
期首剰余金又は期首欠損金 ()	6,732,691	8,455,975
剰余金増加額又は欠損金減少額	61,606	1,022,654
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	61,606	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	1,022,654
剰余金減少額又は欠損金増加額	945,875	30,391
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	30,391
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	945,875	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金 ()	41,865,912	49,680,915

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

第21期 (2021年2月15日現在)	第22期中間計算期間 (2021年8月15日現在)
1 計算期間の末日における受益権の総数 1,476,916,715口	1 中間計算期間の末日における受益権の総数 1,636,298,173口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0057円 (1万口当たり純資産額 10,057円)	2 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0304円 (1万口当たり純資産額 10,304円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

	第21期 (2021年2月15日現在)	第22期中間計算期間 (2021年8月15日現在)
1 中間貸借対照表（又は貸借対照表）計上額、時価及びその差額	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2 中間貸借対照表（又は貸借対照表）の科目ごとの時価の算定方法	親投資信託受益証券については、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）の1 運用資産の評価基準及び評価方法に記載の通りです。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務については、時価が帳簿価額と近似しているため帳簿価額を時価としております。	同左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれることがあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

項 目	期 別	第21期 (自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)	第22期中間計算期間 (自 2021年2月16日 至 2021年8月15日)
期首元本額		1,406,987,220 円	1,476,916,715 円
期中追加設定元本額		100,118,841 円	164,687,910 円
期中一部解約元本額		30,189,346 円	5,306,452 円

2 デリバティブ取引関係

第21期(自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)

該当事項はありません。

第22期中間計算期間(自 2021年2月16日 至 2021年8月15日)

該当事項はありません。

【赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第21期 (2021年2月15日現在)	第22期中間計算期間 (2021年8月15日現在)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	1,000
コール・ローン	314,687,937	55,410,082
親投資信託受益証券	1,454,926,710	1,735,901,287
流動資産合計	1,769,614,647	1,791,312,369
資産合計	1,769,614,647	1,791,312,369
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	238,420,310	-
未払解約金	-	1,246
未払受託者報酬	714,919	759,831
未払委託者報酬	10,008,785	10,637,533
未払利息	446	295
その他未払費用	142,914	151,907
流動負債合計	249,287,374	11,550,812
負債合計	249,287,374	11,550,812
純資産の部		
元本等		
元本	1,508,989,310	1,720,429,752
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	11,337,963	59,331,805
（分配準備積立金）	90,121,960	89,351,287
元本等合計	1,520,327,273	1,779,761,557
純資産合計	1,520,327,273	1,779,761,557
負債純資産合計	1,769,614,647	1,791,312,369

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第21期中間計算期間 (自 2020年2月18日 至 2020年8月17日)	第22期中間計算期間 (自 2021年2月16日 至 2021年8月15日)
営業収益		
受取利息	-	81
有価証券売買等損益	79,447,067	57,974,577
営業収益合計	79,447,067	57,974,658
営業費用		
支払利息	16,926	13,351
受託者報酬	629,979	759,831
委託者報酬	8,819,656	10,637,533
その他費用	125,957	151,907
営業費用合計	9,592,518	11,562,622
営業利益	69,854,549	46,412,036
経常利益	69,854,549	46,412,036
中間純利益	69,854,549	46,412,036
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	80,413	102,183
期首剰余金又は期首欠損金()	9,652,755	11,337,963
剰余金増加額又は欠損金減少額	33,341	1,794,955
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	33,341	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	1,794,955
剰余金減少額又は欠損金増加額	698,636	110,966
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	110,966
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	698,636	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	59,616,912	59,331,805

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

第21期 (2021年2月15日現在)	第22期中間計算期間 (2021年8月15日現在)
1 計算期間の末日における受益権の総数 1,508,989,310口	1 中間計算期間の末日における受益権の総数 1,720,429,752口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0075円 (1万口当たり純資産額 10,075円)	2 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0345円 (1万口当たり純資産額 10,345円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

	第21期 (2021年2月15日現在)	第22期中間計算期間 (2021年8月15日現在)
1 中間貸借対照表（又は貸借対照表）計上額、時価及びその差額	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。
2 中間貸借対照表（又は貸借対照表）の科目ごとの時価の算定方法	親投資信託受益証券については、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）の1 運用資産の評価基準及び評価方法に記載の通りです。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務については、時価が帳簿価額と近似しているため帳簿価額を時価としております。	同左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれることがあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

項 目	期 別	第21期 （自 2020年2月18日 至 2021年2月15日）	第22期中間計算期間 （自 2021年2月16日 至 2021年8月15日）
期首元本額		1,442,094,385 円	1,508,989,310 円
期中追加設定元本額		76,824,036 円	226,204,965 円
期中一部解約元本額		9,929,111 円	14,764,523 円

2 デリバティブ取引関係

第21期（自 2020年2月18日 至 2021年2月15日）

該当事項はありません。

第22期中間計算期間（自 2021年2月16日 至 2021年8月15日）

該当事項はありません。

（参考）マザーファンドの状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

当ファンドは「国内株式マザーファンド」、「国内債券マザーファンド」、「外国株式マザーファンド」、及び「外国債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同マザーファンド受益証券です。

（１）貸借対照表

国内株式マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（2021年2月15日現在）	（2021年8月15日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		15,403,786	131,837,825
株式		7,929,635,660	8,065,421,300
未収配当金		8,937,600	9,140,900
流動資産合計		7,953,977,046	8,206,400,025
資産合計		7,953,977,046	8,206,400,025
負債の部			
流動負債			
未払利息		21	234
流動負債合計		21	234
負債合計		21	234
純資産の部			
元本等			
元本		4,849,320,777	5,032,156,141
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		3,104,656,248	3,174,243,650
元本等合計		7,953,977,025	8,206,399,791
純資産合計		7,953,977,025	8,206,399,791
負債純資産合計		7,953,977,046	8,206,400,025

国内債券マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（2021年2月15日現在）	（2021年8月15日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		46,667,275	116,212,189
国債証券		8,447,601,440	8,357,742,290
地方債証券		-	100,572,000
特殊債券		1,526,805,388	1,182,232,206
社債券		807,580,119	907,652,990
未収利息		13,031,205	10,622,630
前払費用		728,487	518,239
流動資産合計		10,842,413,914	10,675,552,544
資産合計		10,842,413,914	10,675,552,544
負債の部			
流動負債			
未払利息		66	206
流動負債合計		66	206
負債合計		66	206
純資産の部			
元本等			
元本		7,527,586,446	7,358,525,355
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		3,314,827,402	3,317,026,983
元本等合計		10,842,413,848	10,675,552,338
純資産合計		10,842,413,848	10,675,552,338
負債純資産合計		10,842,413,914	10,675,552,544

外国株式マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（2021年2月15日現在）	（2021年8月15日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		13,097,471	18,551,293
コール・ローン		32,045,335	19,199,347
株式		5,304,863,603	4,736,486,792
投資証券		75,460,183	78,855,444
未収入金		15,047,870	-
未収配当金		3,367,713	5,747,452
流動資産合計		5,443,882,175	4,858,840,328
資産合計		5,443,882,175	4,858,840,328
負債の部			
流動負債			
未払金		15,080,281	-
未払利息		45	34
流動負債合計		15,080,326	34
負債合計		15,080,326	34
純資産の部			
元本等			
元本		1,811,313,692	1,372,125,622
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		3,617,488,157	3,486,714,672
元本等合計		5,428,801,849	4,858,840,294
純資産合計		5,428,801,849	4,858,840,294
負債純資産合計		5,443,882,175	4,858,840,328

外国債券マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	(2021年2月15日現在)	(2021年8月15日現在)
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		148,257	645,306
コール・ローン		6,957,125	5,251,047
国債証券		2,699,673,691	2,160,892,594
未収利息		21,863,650	18,838,956
前払費用		3,206,584	1,492,368
流動資産合計		2,731,849,307	2,187,120,271
資産合計		2,731,849,307	2,187,120,271
負債の部			
流動負債			
未払利息		9	9
流動負債合計		9	9
負債合計		9	9
純資産の部			
元本等			
元本		943,716,387	732,501,759
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,788,132,911	1,454,618,503
元本等合計		2,731,849,298	2,187,120,262
純資産合計		2,731,849,298	2,187,120,262
負債純資産合計		2,731,849,307	2,187,120,271

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準 及び評価方法	<p>(1)株式、投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価額のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場又は気配相場）で評価しております。</p> <p>(2)国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、市場価額のあるものについてはその終値（終値のないものについてはそれに準ずる価額）、金融商品取引所に上場されていないものについては、以下のいずれかから入手した価額で評価しております。 日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）値段 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない） 価額情報会社の提供する価額 なお、買付にかかる約定日から1年以内で償還を迎える公社債等（償還日の前年応答日が到来したものを含む。）で価格変動性が限定的であり、償却原価法による評価方法が合理的かつ受益者の利益を害しないと投資信託委託会社が判断した場合には、当該方式によって評価しております。</p>
2 外貨建資産・負債の本邦通貨 への換算基準	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3 費用・収益の計上基準	<p>(1)受取配当金 国内有価証券については、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 外国有価証券については、原則として配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には、入金日基準で計上しております。</p> <p>(2)有価証券売買等損益、為替差損益 約定日基準で計上しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

（2021年2月15日現在）		（2021年8月15日現在）	
1 計算期間の末日における受益権の総数		1 計算期間の末日における受益権の総数	
国内株式マザーファンド	4,849,320,777 口	国内株式マザーファンド	5,032,156,141 口
国内債券マザーファンド	7,527,586,446 口	国内債券マザーファンド	7,358,525,355 口
外国株式マザーファンド	1,811,313,692 口	外国株式マザーファンド	1,372,125,622 口
外国債券マザーファンド	943,716,387 口	外国債券マザーファンド	732,501,759 口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額		2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
国内株式マザーファンド		国内株式マザーファンド	
1口当たり純資産額	1.6402円	1口当たり純資産額	1.6308円
(1万口当たり純資産額)	16,402円)	(1万口当たり純資産額)	16,308円)
国内債券マザーファンド		国内債券マザーファンド	
1口当たり純資産額	1.4404円	1口当たり純資産額	1.4508円
(1万口当たり純資産額)	14,404円)	(1万口当たり純資産額)	14,508円)
外国株式マザーファンド		外国株式マザーファンド	
1口当たり純資産額	2.9972円	1口当たり純資産額	3.5411円
(1万口当たり純資産額)	29,972円)	(1万口当たり純資産額)	35,411円)
外国債券マザーファンド		外国債券マザーファンド	
1口当たり純資産額	2.8948円	1口当たり純資産額	2.9858円
(1万口当たり純資産額)	28,948円)	(1万口当たり純資産額)	29,858円)

（その他の注記）

1 元本の移動

項目	対象年月日	（2021年2月15日現在）	（2021年8月15日現在）
国内株式マザーファンド			
期首元本額		6,469,596,867 円	4,849,320,777 円
期中追加設定元本額		860,338,000 円	299,106,918 円
期中一部解約元本額		2,480,614,090 円	116,271,554 円
期末元本額		4,849,320,777 円	5,032,156,141 円
元本の内訳*			
青のライフキャンパス・ファンド （標準型）		292,026,483 円	347,038,433 円
赤のライフキャンパス・ファンド （積極型）		396,846,376 円	485,423,754 円
T & D国内株式オープンS A （適格機関投資家専用）		4,160,447,918 円	4,199,693,954 円
合計		4,849,320,777 円	5,032,156,141 円
国内債券マザーファンド			
期首元本額		7,036,534,770 円	7,527,586,446 円
期中追加設定元本額		1,705,730,917 円	368,338,928 円
期中一部解約元本額		1,214,679,241 円	537,400,019 円
期末元本額		7,527,586,446 円	7,358,525,355 円
元本の内訳*			
青のライフキャンパス・ファンド （標準型）		348,499,311 円	426,331,276 円

赤のライフキャンパス・ファンド (積極型)	180,995,607 円	268,571,692 円
T & D国内債券オープン (非課税適格機関投資家専用)	2,554,054,440 円	2,226,674,963 円
T & D国内債券オープンS A (適格機関投資家専用)	4,444,037,088 円	4,436,947,424 円
合計	7,527,586,446 円	7,358,525,355 円
外国株式マザーファンド		
期首元本額	1,473,507,825 円	1,811,313,692 円
期中追加設定元本額	912,248,120 円	11,353,871 円
期中一部解約元本額	574,442,253 円	450,541,941 円
期末元本額	1,811,313,692 円	1,372,125,622 円
元本の内訳*		
青のライフキャンパス・ファンド (標準型)	85,842,617 円	77,427,059 円
赤のライフキャンパス・ファンド (積極型)	102,520,774 円	91,884,343 円
T & D外国株オープン (非課税適格機関投資家専用)	252,721,212 円	- 円
T & D外国株式オープンS A (適格機関投資家専用)	1,370,229,089 円	1,202,814,220 円
合計	1,811,313,692 円	1,372,125,622 円
外国債券マザーファンド		
期首元本額	1,122,379,995 円	943,716,387 円
期中追加設定元本額	247,951,152 円	- 円
期中一部解約元本額	426,614,760 円	211,214,628 円
期末元本額	943,716,387 円	732,501,759 円
元本の内訳*		
青のライフキャンパス・ファンド (標準型)	66,510,124 円	61,753,881 円
赤のライフキャンパス・ファンド (積極型)	81,538,604 円	76,782,361 円
T & D外国債券オープン (非課税適格機関投資家専用)	141,613,865 円	- 円
T & D外国債券オープンS A (適格機関投資家専用)	654,053,794 円	593,965,517 円
合計	943,716,387 円	732,501,759 円

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

2 デリバティブ取引関係

(自 2020年2月18日 至 2021年2月15日)

該当事項はありません。

(自 2021年2月16日 至 2021年8月15日)

該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

(2021年8月31日現在)

青のライフキャンバス・ファンド(標準型)

資産総額	1,702,730,228 円
負債総額	982,408 円
純資産総額(-)	1,701,747,820 円
発行済数量	1,639,067,231 口
1単位当たり純資産額(/)	1.0382 円

赤のライフキャンバス・ファンド(積極型)

資産総額	1,801,025,189 円
負債総額	1,153,052 円
純資産総額(-)	1,799,872,137 円
発行済数量	1,722,498,663 口
1単位当たり純資産額(/)	1.0449 円

(参考)国内株式マザーファンド

資産総額	8,458,662,848 円
負債総額	51,735,215 円
純資産総額(-)	8,406,927,633 円
発行済数量	5,049,045,921 口
1単位当たり純資産額(/)	1.6651 円

(参考)国内債券マザーファンド

資産総額	10,727,054,138 円
負債総額	60,228,789 円
純資産総額(-)	10,666,825,349 円
発行済数量	7,351,639,251 口
1単位当たり純資産額(/)	1.4509 円

(参考)外国株式マザーファンド

資産総額	4,890,737,957 円
負債総額	34 円
純資産総額(-)	4,890,737,923 円
発行済数量	1,372,125,622 口
1単位当たり純資産額(/)	3.5644 円

(参考)外国債券マザーファンド

資産総額	2,396,687,248 円
------	-----------------

負債総額	213,651,823 円
純資産総額 (-)	2,183,035,425 円
発行済数量	732,501,759 口
1単位当たり純資産額 (/)	2.9802 円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、この信託の受益権を取扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

1. 名義書換についての手続き、取扱場所等

ありません。

2. 受益者に対する特典

ありません。

3. 受益権の譲渡

譲渡制限はありません。ただし、受益権の譲渡の手続きおよび受益権の譲渡の対抗要件は以下によるものとします。

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

委託会社は、上記 に規定する振替について、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

4. 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できます。

5. 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、換金申込の受付、換金代金および償還金の支払い等については、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

（1）資本金の額

2021年8月末日現在の資本金の額	11億円
会社が発行する株式の総数	2,294,100株
発行済株式総数	1,082,500株
過去5年間ににおける主な資本金の額の増減	該当事項はありません。

（2）会社の機構

経営体制

10名以内の取締役が、株主総会において選任されます。取締役の選任は株主総会において、総株主の議決権の3分の1以上に当たる株式を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。

取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度に関する定時株主総会終結の時までとします。

取締役会はその決議をもって、取締役中より取締役会長、取締役社長各1名、取締役副社長若干名を選定することができます。また取締役中より代表取締役を選定します。

取締役会は、取締役社長が招集します。取締役社長に事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序により、他の取締役がこれを招集します。取締役会の招集通知は会日の2日前までにこれを発します。ただし、緊急の場合は、この期間を短縮することができます。また取締役および監査役全員の同意がある場合は、これを省略することができます。

取締役会は、法令または定款に定める事項の他、業務執行に関する重要事項を決定します。その決議は、取締役の過半数が出席し、その出席取締役の過半数をもって行います。

投資信託運用の意思決定と運用の流れ

a. 基本運用方針、月次運用計画の決定

投資政策委員会（原則月1回開催）において投資信託の基本運用方針に関する事項が審議・決定され、各運用部長において月次運用計画に関する事項が審議・決定されます。

b. 運用の実行

月次運用計画に沿って、ファンド・マネージャーからトレーディング部に売買発注指示があり、売買が執行されます。

c. 運用のチェック等

・業務管理部において、運用上の諸リスクの管理および運用実績の評価等を行い、運用審査委員会にて報告・審議が行われます。

・法務・コンプライアンス部において、日次で有価証券等の取引内容のチェック・運用制限遵守のチェック等が実施され、コンプライアンス委員会および取締役会に報告を行っています。

会社の機構は2021年8月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務および第二種金融商品取引業を行っています。

委託会社の運用する証券投資信託は2021年8月末日現在、256本であり、その純資産総額の合計は1,133,190百万円です（ただし、親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額
追加型株式投資信託	131本	581,269百万円
単位型株式投資信託	62本	186,624百万円
単位型公社債投資信託	63本	365,297百万円
合計	256本	1,133,190百万円

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第41期事業年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

区分	注記 番号	第40期 (2020年3月31日現在)		第41期 (2021年3月31日現在)	
		内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)					
流動資産					
1. 預金			7,679,360		7,160,745
2. 前払費用			56,732		53,716
3. 未収委託者報酬			982,920		864,128
4. 未収運用受託報酬			424,829		346,844
5. その他			570		33,509
流動資産計			9,144,413		8,458,944
固定資産					
1. 有形固定資産			113,011		91,256
(1) 建物	1	81,816		73,436	
(2) 器具備品	1	30,982		17,660	
(3) その他	1	212		159	
2. 無形固定資産			29,823		68,667
(1) 電話加入権		2,862		2,862	
(2) ソフトウェア		25,423		54,941	
(3) ソフトウェア仮勘定		1,537		10,863	
3. 投資その他の資産			392,604		844,672
(1) 投資有価証券		52,990		496,104	
(2) 関係会社株式		5,386		3,264	
(3) 長期差入保証金		106,554		101,261	
(4) 繰延税金資産		215,746		226,048	
(5) 長期前払費用		11,927		17,993	
固定資産計			535,440		1,004,597
資産合計			9,679,853		9,463,541

区分	注記 番号	第40期 (2020年3月31日現在)		第41期 (2021年3月31日現在)	
		内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)					
流動負債					
1. 預り金			3,991		4,236
2. 未払金			503,207		373,559
(1) 未払収益分配金		1,164		1,521	
(2) 未払償還金		2		2	
(3) 未払手数料		372,833		302,483	
(4) その他未払金		129,207		69,552	
3. 未払費用			703,287		613,492
4. 未払法人税等			35,287		12,283
5. 未払消費税等			49,237		25,230
6. 賞与引当金			216,189		191,517
7. 役員賞与引当金			18,375		14,800
8. 時効後支払損引当金			37,988		37,988
流動負債計			1,567,564		1,273,108
固定負債					
1. 退職給付引当金			419,613		462,595
2. 役員退職慰労引当金			30,657		36,524
固定負債計			450,270		499,119
負債合計			2,017,835		1,772,228
(純資産の部)					
株主資本					
1. 資本金			1,100,000		1,100,000
2. 資本剰余金			277,667		277,667
(1) 資本準備金		277,667		277,667	
3. 利益剰余金			6,285,565		6,343,225
(1) 利益準備金		175,000		175,000	
(2) その他利益剰余金					
別途積立金		3,137,790		3,137,790	
繰越利益剰余金		2,972,775		3,030,435	
株主資本計			7,663,233		7,720,893
評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金			1,215		29,580
評価・換算差額等計			1,215		29,580
純資産合計			7,662,018		7,691,313
負債・純資産合計			9,679,853		9,463,541

（２）【損益計算書】

区分	注記 番号	第40期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		第41期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業収益					
1. 委託者報酬			5,839,865		5,245,922
2. 運用受託報酬			1,621,991		1,397,717
3. 投資助言報酬			-		10,000
営業収益計			7,461,856		6,653,639
営業費用					
1. 支払手数料			2,358,262		2,010,648
2. 広告宣伝費			970		160
3. 調査費			2,236,948		2,025,602
(1) 調査費		160,023		133,814	
(2) 委託調査費		1,710,692		1,491,662	
(3) 情報機器関連費		365,263		399,102	
(4) 図書費		968		1,022	
4. 委託計算費			218,698		212,665
5. 営業雑経費			102,606		101,181
(1) 通信費		6,812		9,730	
(2) 印刷費		85,021		80,401	
(3) 協会費		6,591		6,748	
(4) 諸会費		4,181		4,300	
営業費用計			4,917,486		4,350,259
一般管理費					
1. 給料			1,180,816		1,237,133
(1) 役員報酬		82,223		87,649	
(2) 給料・手当		1,034,250		1,085,640	
(3) 賞与		64,343		63,844	
2. 法定福利費			191,628		198,885
3. 退職金			2,456		-
4. 福利厚生費			4,351		4,808
5. 交際費			1,555		105
6. 寄付金			-		500
7. 旅費交通費			8,454		8,997
8. 事務委託費			112,134		102,494
9. 租税公課			139,472		137,151
10. 不動産賃借料			150,775		154,577
11. 退職給付費用			51,226		55,702
12. 役員退職慰労金			300		-
13. 役員退職慰労引当金繰入			5,708		5,867
14. 賞与引当金繰入			216,189		191,517
15. 役員賞与引当金繰入			18,375		14,800
16. 固定資産減価償却費			41,842		34,453
17. 諸経費			63,433		42,241
一般管理費計			2,188,720		2,189,236
営業利益			355,649		114,143

区分	注記 番号	第40期 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日)		第41期 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日)	
		内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業外収益					
1. 受取配当金			994		985
2. 受取利息			80		69
3. 時効成立分配金・償還金			415		498
4. 助成金収入			1,586		482
5. 雑収入			280		70
営業外収益計			3,357		2,106
営業外費用					
1. 為替差損			3,264		7,741
2. 時効後支払損引当金繰入			37,988		-
3. 雑損失			110		-
営業外費用計			41,363		7,741
経常利益			317,643		108,508
特別利益					
1. 投資有価証券売却益			108		2
特別利益計			108		2
特別損失					
1. 固定資産除却損	1		4		820
2. 投資有価証券評価損			-		695
3. 投資有価証券売却損			818		2,084
4. 関係会社株式評価損			-		2,121
特別損失計			823		5,723
税引前当期純利益			316,929		102,788
法人税、住民税及び事業税			127,805		42,912
法人税等調整額			22,254		2,215
当期純利益			211,378		57,660

【 3 】 【 株主資本等変動計算書 】

第40期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株 主 資 本							株主資本 合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金		株主資本 合計	
		資本 準備金	資本剰余 金合計		利益 準備金	その他利益剰余金		
					別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,761,396	6,074,187	7,451,855
当期変動額								
当期純利益						211,378	211,378	211,378
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	211,378	211,378	211,378
当期末残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,972,775	6,285,565	7,663,233

	評価・換算差額等		純資産 合 計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	226	226	7,451,628
当期変動額			
当期純利益			211,378
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	988	988	988
当期変動額合計	988	988	210,389
当期末残高	1,215	1,215	7,662,018

第41期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株 主 資 本							株主資本 合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金	そ の 他 利 益 剰 余 金		利 益 剰 余 金 合 計	
		資本 準備金	資本剰余 金合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,972,775	6,285,565	7,663,233
当期変動額								
当期純利益						57,660	57,660	57,660
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	57,660	57,660	57,660
当期末残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	3,030,435	6,343,225	7,720,893

	評価・換算差額等		純資産 合 計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,215	1,215	7,662,018
当期変動額			
当期純利益			57,660
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	28,364	28,364	28,364
当期変動額合計	28,364	28,364	29,295
当期末残高	29,580	29,580	7,691,313

重要な会計方針

1．有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	3～50年
器具備品	2～15年
その他	8年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

3．引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(2) 役員賞与引当金

役員賞与の支出に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

(3) 時効後支払損引当金

時効後支払損引当金は、時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者への今後の支払に備えるため、発生すると見込まれる額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、簡便法（期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）により、期末要支給額を計上しております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

なお、当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(未適用の会計基準等)

(収益認識に関する会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）

(1) 概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、2014年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic 606）を公表しており、IFRS第15号は2018年1月1日以後開始する事業年度から、Topic 606は2017年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首から適用します。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える重要な影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等)

- ・「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日）
- ・「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）
- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日）
- ・「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日）

(1) 概要

IASB及びFASBが、公正価値測定についてほぼ同じ内容の詳細なガイダンス（IFRSにおいてはIFRS第13号、米国会計基準においてはTopic 820）を定めている状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、主に金融商品の時価に関するガイダンス及び開示に関して、日本基準を国際的な会計基準との整合性を図る取組みが行われ、「時価の算定に関する会計基準」等が公表されたものです。

企業会計基準委員会の時価の算定に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、統一的な算定方法を用いることにより、国内外の企業間における財務諸表の比較可能性を向上させる観点から、IFRS第13号の定めを基本的にすべて取り入れることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮し、財務諸表間の比較可能性を大きく損なわせない範囲で、個別項目に対するその他の取扱いを定めることとされております。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首から適用します。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える重要な影響はありません。

注記事項

（貸借対照表関係）

第40期 (2020年3月31日現在)	第41期 (2021年3月31日現在)
1 有形固定資産の減価償却累計額	1 有形固定資産の減価償却累計額
建物 54,765千円	建物 63,145千円
器具備品 153,010千円	器具備品 166,398千円
その他 684千円	その他 737千円

（損益計算書関係）

第40期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	第41期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。	1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。
器具備品 4千円	器具備品 0千円
	ソフトウェア 820千円

（株主資本等変動計算書関係）

第40期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数（千株）	当事業年度増加 株式数（千株）	当事業年度減少 株式数（千株）	当事業年度末 株式数（千株）
普通株式	1,082	-	-	1,082

2．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。

第41期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数（千株）	当事業年度増加 株式数（千株）	当事業年度減少 株式数（千株）	当事業年度末 株式数（千株）
普通株式	1,082	-	-	1,082

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社では、資金運用については原則として預金等の資産を中心に投資する方針であり、有価証券の取得を行う場合には、投機的な取引は行いません。

また、資金調達については、主に金融機関からの借入による方針です。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は顧客の信用リスクに晒されておりますが、主に信託銀行により分別管理が行われている信託財産から支弁されており、当該リスクの影響は軽微であります。

投資有価証券及び関係会社株式は、主に非上場株式、子会社株式及び投資信託であります。非上場株式及び子会社株式は業務上の関係維持を目的として保有しており、定期的に発行体の財務状況等の把握を行っております。投資信託は当社が設定する投資信託を商品性の維持等を目的に取得しているものであり、市場価格等の変動リスクは軽微であります。

未払金、未払費用は、ほとんどが1年以内の支払期日です。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社は、「リスク管理基本方針」にて各種リスクの基本的考え方を定めており、「財務リスク管理規程」によって、財務リスク（資金繰りリスク、信用リスク）の管理方法を定めています。財務リスクの状況は、月次で開催されるリスク管理委員会にてモニタリングが行われます。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（（注2）参照のこと。）。

第40期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 預金	7,679,360	7,679,360	-
(2) 未収委託者報酬	982,920	982,920	-
(3) 未収運用受託報酬	424,829	424,829	-
(4) 投資有価証券 其他有価証券	22,790	22,790	-
資産計	9,109,899	9,109,899	-
(1) 未払金 未払収益分配金	(1,164)	(1,164)	-
未払償還金	(2)	(2)	-
未払手数料	(372,833)	(372,833)	-
其他未払金	(129,207)	(129,207)	-
(2) 未払費用	(703,287)	(703,287)	-
負債計	(1,206,495)	(1,206,495)	-

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券(投資信託)

投資信託は公表されている基準価額によっております。

負 債

(1) 未払金、(2) 未払費用

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位:千円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	30,200
子会社株式	5,386
合計	35,586

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超
預金	7,679,360	-	-
未収委託者報酬	982,920	-	-
未収運用受託報酬	424,829	-	-
投資有価証券			
その他有価証券のうち 満期があるもの(その他)	8,759	13,259	771
合計	9,095,869	13,259	771

第41期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 預金	7,160,745	7,160,745	-
(2) 未収委託者報酬	864,128	864,128	-
(3) 未収運用受託報酬	346,844	346,844	-
(4) 投資有価証券			
その他有価証券	465,904	465,904	-
資産計	8,837,622	8,837,622	-
(1) 未払金			
未払収益分配金	(1,521)	(1,521)	-
未払償還金	(2)	(2)	-
未払手数料	(302,483)	(302,483)	-
その他未払金	(69,552)	(69,552)	-
(2) 未払費用	(613,492)	(613,492)	-
負債計	(987,052)	(987,052)	-

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

(1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券(投資信託)

投資信託は公表されている基準価額によっております。

負債

(1) 未払金、(2) 未払費用

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	30,200
子会社株式	3,264
合計	33,464

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

（注3）金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超
預金	7,160,745	-	-
未収委託者報酬	864,128	-	-
未収運用受託報酬	346,844	-	-
投資有価証券			
その他有価証券のうち 満期があるもの(その他)	5,211	2,529	1,063
合計	8,376,929	2,529	1,063

（有価証券関係）

第40期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. その他有価証券

その他有価証券の当事業年度中の売却額は27,360千円であり、売却益の合計額は108千円、売却損の合計額は818千円であります。また、その他有価証券において、種類ごとの貸借対照表計上額、取得原価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	種類(*)	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	(1) その他	8,996	7,762	1,234
	小計	8,996	7,762	1,234
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	(1) その他	13,793	16,779	2,985
	小計	13,793	16,779	2,985
合計		22,790	24,541	1,751

(*) 当事業年度中において、保有目的が変更となった有価証券はありません。

2. 減損処理を行った有価証券

該当事項はありません。

第41期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. その他有価証券

その他有価証券の当事業年度中の売却額は17,633千円であり、売却益の合計額は2千円、売却損の合計額は2,084千円であります。また、その他有価証券において、種類ごとの貸借対照表計上額、取得原価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	種類(*)	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	(1) その他	5,147	4,588	559
	小計	5,147	4,588	559
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	(1) その他	460,757	503,951	43,194
	小計	460,757	503,951	43,194
合計		465,904	508,539	42,634

(*) 当事業年度中において、保有目的が変更となった有価証券はありません。

2. 減損処理を行った有価証券

当事業年度中において、投資有価証券について695千円（その他有価証券695千円）、関係会社株式について2,121千円減損処理を行っております。

（退職給付関係）

第40期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1．採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を設けております。また、確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2．確定給付制度

(1)簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	422,821千円
退職給付費用	40,258千円
<u>退職給付の支払額</u>	<u>43,466千円</u>
退職給付引当金の期末残高	419,613千円

(2)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

<u>退職一時金制度の退職給付債務</u>	<u>419,613千円</u>
<u>貸借対照表に計上された負債と資産の純額</u>	<u>419,613千円</u>

<u>退職給付引当金</u>	<u>419,613千円</u>
<u>貸借対照表に計上された負債と資産の純額</u>	<u>419,613千円</u>

(3)退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	40,258千円
----------------	----------

3．確定拠出制度

確定拠出制度への要拠出額	10,968千円
--------------	----------

第41期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を設けております。また、確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1)簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	419,613千円
退職給付費用	42,982千円
退職給付の支払額	- 千円
退職給付引当金の期末残高	462,595千円

(2)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

退職一時金制度の退職給付債務	462,595千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	462,595千円

退職給付引当金	462,595千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	462,595千円

(3)退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用 43,987千円

（注）退職給付費用には株式会社 T & D ホールディングスからの出向者に対する当社負担分を含めております。

3. 確定拠出制度

確定拠出制度への要拠出額 11,714千円

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第40期(2020年3月31日現在)	第41期(2021年3月31日現在)
	(単位:千円)	(単位:千円)
(繰延税金資産)		
賞与引当金	66,197	58,642
未払社会保険料	10,994	9,817
未払事業税	7,080	2,429
退職給付引当金	137,872	152,830
連結納税加入に伴う有価証券 時価評価益	15,061	15,061
時効後支払損引当金	11,632	11,632
その他有価証券評価差額金	536	13,054
その他	14,835	17,952
小計	264,210	281,421
評価性引当額	48,464	55,372
繰延税金資産計	215,746	226,048
繰延税金資産の純額	215,746	226,048

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

	第40期(2020年3月31日現在)		第41期(2021年3月31日現在)
法定実効税率	30.6%	法定実効税率	30.6%
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.6	交際費等永久に損金に算入されない項目	4.6
住民税均等割	0.7	住民税均等割	2.2
評価性引当額	0.1	評価性引当額	6.7
その他	0.5	その他	0.3
税効果会計適用後の法人税率の負担率	33.3	税効果会計適用後の法人税率の負担率	43.9

（セグメント情報等）

1．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2．関連情報

第40期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(1) 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

第41期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(1) 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(関連当事者との取引)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

第40期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	株T&Dホールディングス	東京都中央区	207,111	持株会社	(被所有)直接 100	経営管理	連結納税に伴う支払額及び支払予定額(*1)	99,817	未払金	79,336

(注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1)連結法人税額のうち当社の個別帰属額であり、連結納税親会社へ支払った額及び支払う額であります。

第41期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	株T&Dホールディングス	東京都中央区	207,111	持株会社	(被所有)直接 100	経営管理	連結納税に伴う支払額及び支払予定額(*1)	32,605	未払金	8,424

(注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1)連結法人税額のうち当社の個別帰属額であり、連結納税親会社へ支払った額及び支払う額であります。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第40期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社の子会社	大同生命保険(株)	大阪市西区	110,000	生命保険業	-	投資顧問契約の締結	投資顧問契約(*1)	398,614	未収運用受託報酬	110,897

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1)投資顧問契約にかかる報酬については、運用の種類・受託資産の規模等を勘案し総合的に決定しております。

第41期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社の子会社	大同生命保険(株)	大阪市西区	110,000	生命保険業	-	投資顧問契約の締結	投資顧問契約(*1)	349,256	未収運用受託報酬	93,225

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1)投資顧問契約にかかる報酬については、運用の種類・受託資産の規模等を勘案し総合的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

株式会社T & Dホールディングス（東京証券取引所に上場）

(1株当たり情報)

第40期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		第41期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	7,078.07円	1株当たり純資産額	7,105.13円
1株当たり当期純利益	195.26円	1株当たり当期純利益	53.26円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
当期純利益(千円)	211,378	当期純利益(千円)	57,660
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	211,378	普通株式に係る当期純利益(千円)	57,660
期中平均株式数(千株)	1,082	期中平均株式数(千株)	1,082

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次の行為が禁止されています。

1. 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
2. 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
3. 通常の見積りの条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下4、5において同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。
4. 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
5. 上記3、4に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

定款の変更等

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の特別決議が必要です。

訴訟事件その他の重要事項

委託会社およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

- ・ 資本金の額 324,279百万円（2021年3月末日現在）
- ・ 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

[信託事務の一部委託先]

日本マスタートラスト信託銀行株式会社

- ・ 資本金の額 10,000百万円（2021年3月末日現在）
- ・ 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名 称	資本金の額 (単位：百万円) (2021年3月末日現在)	事業の内容
株式会社SBI証券	48,323	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
野村證券株式会社	10,000	
PWM日本証券株式会社	3,000	
楽天証券株式会社	7,495	
株式会社三菱UFJ銀行	1,711,958	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

新規買付のお申込みは受付けておりません。

2【関係業務の概要】

「受託会社」は主に以下の業務を行います。

- a . 信託財産の保管・管理・計算
- b . 委託会社の指図に基づく信託財産の処分等

「販売会社」は主に以下の業務を行います。

- a . 受益権の募集・販売の取扱い
- b . 受益権の換金（解約）申込の取扱い
- c . 換金代金、収益分配金および償還金の支払の取扱い
- d . 目論見書、運用報告書の交付等

3【資本関係】

（持株比率5.0%以上を記載します。）

2021年8月末日現在、該当事項はありません。

第3【その他】

1. 目論見書は別称として「投資信託説明書」と称して使用することがあります。
2. 目論見書の表紙にロゴ・マーク、図案を使用することがあります。
3. 目論見書の表紙等に、以下の事項を記載することがあります。
 - ・ 金融商品取引法上の目論見書である旨
 - ・ 目論見書の使用を開始する日
 - ・ 信託財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
 - ・ 委託会社の金融商品取引業者登録番号
4. 詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。
 - ・ 委託会社のホームページアドレス、電話番号および受付時間
 - ・ 請求目論見書の入手方法および信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
 - ・ 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨および当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
5. 届出の効力に関する事項について、以下のいずれかの内容を記載することがあります。
 - ・ 届出をした日、届出が効力を生じている旨および効力発生日
 - ・ 届出をした日および当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
6. 届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表等を付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
7. 請求目論見書の巻末に、ファンドの信託約款の全文を掲載することがあります。
8. 目論見書は電子媒体、インターネット等に掲載することがあります。

独立監査人の監査報告書

2021年6月4日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所
指定有限責任社員 公認会計士 羽柴 則央
業務執行社員
指定有限責任社員 公認会計士 伊藤 雅人
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているT & Dアセットマネジメント株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの第41期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、T & Dアセットマネジメント株式会社の2021年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。
監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2021年4月13日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	羽柴 則央
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤 雅人

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている青のライフキャンパス・ファンド（標準型）の2020年2月18日から2021年2月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、青のライフキャンパス・ファンド（標準型）の2021年2月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な

不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2021年4月13日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	羽柴 則央
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤 雅人

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）の2020年2月18日から2021年2月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）の2021年2月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な

不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2021年10月13日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	羽柴 則央
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤 雅人

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている青のライフキャンパス・ファンド（標準型）の2021年2月16日から2021年8月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、青のライフキャンパス・ファンド（標準型）の2021年8月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2021年2月16日から2021年8月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2021年10月13日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	羽柴 則央
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤 雅人

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）の2021年2月16日から2021年8月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）の2021年8月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2021年2月16日から2021年8月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。